

マルチフォーマット コンパクトスイッチャー

取扱説明書 (Volume I 基本操作編)

MCS-8M

ソフトウェアバージョン 1.03 以降

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。



安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

I-6～I-8 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記されています。

定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検することをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビネットを破損したときは



- ① 電源を切る。
- ② 電源コードや接続コードを抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

!**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

!**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



注意



高温

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示



アース線を接続せよ

目次 (本書)

△警告	I-6
△注意	I-7
その他の安全上のご注意	I-8
使用上のご注意	I-8
CD-ROM マニュアルの使いかた	I-9
準備	I-9
CD-ROM マニュアルを読むには	I-9

第 1 章 概要

はじめに	I-10
各部の名称	I-11
フロントパネル	I-11
① オーディオ操作部	I-11
② メニュー操作部	I-12
③ クロスポイント操作部	I-13
④ トランジション操作部	I-13
⑤ テンキー操作部	I-14
背面	I-15
① オーディオ出力部	I-15
② オーディオ入力部	I-15
③ ビデオ出力部	I-16
④ 基準同期信号 (リファレンス信号) 入出力部	I-16
⑤ ビデオ入力部	I-16

第 2 章 準備

各機器と接続する	I-17
電源を入れる／切る	I-18
システムに関する設定をする	I-19
信号フォーマットとアスペクト比を設定する	I-19
日付と時刻を設定する	I-20
ビデオ信号に関する設定をする	I-21
ビデオ信号をクロスポイントボタンに割り当てる	I-21
DVI-I 端子に入力する信号のフォーマットを設定する	I-22
音声信号に関する設定をする	I-23
音声入力信号をチャンネルフェーダーに割り当てる	I-23
音声入力のマイク／ラインレベルを設定する	I-25
チャンネルごとに音質を調整する	I-25
マルチビューアーの設定をする	I-26

第 3 章 基本操作

映像を切り換える	I-28
クロスポイントボタンで切り換える	I-28
プレビュー映像で確認してから CUT ボタンで 切り換える	I-28
効果を付けて切り換える (ミックス／エフェクト)	I-29
トランジションレートを設定する	I-30
テンキーで効果を選択する (ダイレクト選択)	I-30
キーで映像を合成する	I-31
ルミナスキーで映像を合成する	I-32
クロマキーで映像を合成する	I-33
ピクチャーインピクチャー (PinP) を使って映像を 合成する	I-35
音声をミキシングする	I-36
スナップショット	I-37
スナップショットを保存する	I-37
スナップショットを呼び出す	I-38
設定の保存と選択	I-39
設定内容を保存する	I-39
起動時に呼び出す設定を選択する	I-39

付録

エフェクトパターン一覧	I-40
困ったときには	I-41
メンテナンス	I-42
仕様	I-42
端子のピン配列	I-45
GPI 入力の接続例	I-45
タリー／GPI 出力の接続例	I-45
保証書とアフターサービス	I-46
索引	I-47

目次 (Volume II 詳細設定編)

(CD-ROM に収録)

第1章 概要

はじめに

第2章 ビデオスイッチング

概要

トランジションタイプの設定

トランジションの基本設定 ([Misc] メニュー)

AUX ミックス

ワイプの設定

DME ワイプの設定

[Effect] メニューの詳細

キーの設定

[Key] メニューの詳細

第3章 オーディオミキシング

概要

[Audio Channel] メニューの詳細

第4章 入力画像のフリーズとフレーム メモリー

概要

入力画像をフリーズさせる

フレームメモリー映像 (FM) として使用する

フレームメモリーを選択する

画像をフレームメモリーに保存する

画像のインポート／エクスポート

第5章 ファイルのインポート／エクス ポート

構成データのインポート／エクスポート

スナップショットのインポート／エクスポート

USB メモリーをフォーマットする

第6章 3D システム

概要

必要な設定を行う

第7章 外部機器の制御

外部機器からの操作を有効／無効にする

外部機器との接続

[GPI/Tally] メニュー一覧

第8章 セットアップ ([Setup] メニュー)

概要

システムのセットアップ (System)

オーディオのセットアップ (Audio)

ビデオ入力のセットアップ (Video (Input))

ビデオ入力信号をクロスポイントボタンに割り当てる
(Video (XPT))

ビデオ出力のセットアップ (Video (Output))

ビデオに関するそのほかのセットアップ
(Video (Misc))

各種情報を表示する (Information)

アプリケーションソフトウェアやファームウェアを
インストールする (Install)

付録

メッセージ一覧

索引

本書について

『取扱説明書（Volume I 基本操作編）』（本書）では、本機を使うために必要な準備と基本操作について説明しています。本書に沿って順に操作すると、映像の切り替えや合成、音声のミキシングの基本がひととおりできるようになります。

- ◆ 詳細に設定したり、高度に使いこなしたいときは、『取扱説明書（Volume II 詳細設定編）』をご覧ください。

本書の見かた

設定値について

太字で表示されている設定値は、工場出荷時の値です。

例)

つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V3	Format	信号フォーマット	108059 、108050、 720p59、720p50、 480i59、576i50、 Test1、Test2、Test3
V4	Aspect	アスペクト比	16:9 、4:3

参照先の表記について

『取扱説明書（Volume II 詳細設定編）』に記載されている項目を示す場合は、次のように→で表記しています。

例 1)

POS（ポジション）ボタン（→ 詳細設定編）

例 2)

- ◆ 詳しくは、「メッセージ一覧」（→ 詳細設定編）をご覧ください。

知りたいことを探すときは

巻末の「索引」（I-47 ページ）をご覧ください。

各項目が説明されている『Volume I 基本操作編』、
『Volume II 詳細設定編』のページ番号を記載しています。

⚠ 警告



火災 感電

下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- ラックマウントするとき、レールにはさみ込まない。

万一、電源コードが傷んだら、ソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。



指示

電源コードのプラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。



指示

指定の電源コードを使用する

指定以外の電源コードを使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

サービストレーニングを受けた技術者以外は、サービスを行わない

一般使用者が機器内部に触ると、感電やけがの原因となることがあります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、ソニーのサービス窓口にご相談ください。



分解禁止

外装をはずさない、改造しない

外装をはずしたり、改造したりすると、感電の原因となります。

内部の調整や設定および点検を行う必要がある場合は、必ずサービストレーニングを受けた技術者にご依頼ください。

⚠ 注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に損害を
与えることがあります。



指示

運搬するときは底面を持つ

本機の底面以外の場所を持って運ぶと、
製品が落下してけがをすることがあります。



指示

安定した場所に設置する

製品が倒れたり、搭載した機器が落下してけがをすることがあります。
十分な強度がある水平な場所に設置してください。



禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・壁から 10cm 以上離して設置する。
- ・密閉された狭い場所に押し込まない。
- ・毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- ・布などで包まない。
- ・あお向けや横倒し、逆さまにしない。



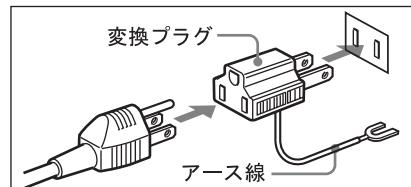
アース線を接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。

次の方法でアースを接続してください。

- ・電源コンセントが3極の場合
3極の電源コードを使用することで安全アースが接続されます。
- ・電源コンセントが2極の場合



指定の3極→2極変換プラグを使用し、変換プラグから出ているアース線を建物に備えられているアース端子に接続してください。

安全アースを取り付けることができない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。



禁止

ファンが止まったままの状態で使用しない

ファンモーターが故障すると、火災の原因となることがあります。

交換については、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。



指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。

十分注意して接続・配置してください。



指示

エアーフィルターを定期的に清掃する

エアーフィルターにほこりが付着し、通風孔をふさぐと本機内部の温度が上昇します。この状態で本機内部に触れると、やけどをすることがあります。

1か月に1回、汚れたときはその都度、通風孔のほこりを取り除いてください。

その他の安全上のご注意

設置時には、通気やサービス性を考慮して設置スペースを確保してください。

- ・ ファンの排気部や通風孔（左側面および右側面）をふさがない。
- ・ 通気のために、セット周辺に空間をあける。
- ・ 作業エリアを確保するため、セット後方は、40 cm 以上の空間をあける。

机上などの平面に設置する場合は、左側面および右側面は 10 cm 以上の空間をそれぞれ確保してください。ただし、セット上部はサービス性を考慮し 40 cm 以上の空間を確保することを推奨します。

注意

日本国内で使用する電源コードセットは、電気用品安全法で定める基準を満足した承認品が要求されます。

ソニー推奨の電源コードセットをご使用ください。

使用上のご注意

使用・保管場所について

- ・ 次のような場所での使用および保管は避けてください。
故障の原因となります。
 - 極端に暑い所や寒い所（使用温度は 5 ℃ ~ 40 ℃）
 - 直射日光が長時間あたる場所や暖房器具の近く
 - 強い磁気を発するものの近く
 - 強力な電波を発するテレビやラジオの送信所の近く
 - 強い振動や衝撃のある所
- ・ 携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像に影響を与えることがあります。本機の近くでは、できるだけ携帯電話などの電源を切ってください。

お手入れのしかた

お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

外装のお手入れについて

- ・ 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- ・ アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- ・ 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- ・ ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

液晶画面の輝点・滅点について

本機の液晶パネルは有効画素 99.99% 以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。また、液晶パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

CD-ROM マニュアルの 使いかた

付属の CD-ROM には、取扱説明書（日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語簡体字、韓国語、ポルトガル語）が収録されています。
この取扱説明書は、PDF (Portable Document Format) で作成されています。

ご注意

CD-ROM が破損または紛失したため、新しい CD-ROM をご希望の場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。（有料）

準備

付属の CD-ROM に収納されている取扱説明書をご覧いただくためには、以下のソフトウェアがコンピューターにインストールされている必要があります。

- Adobe Reader 6.0 以上

メモ

Adobe Reader がインストールされていない場合は、下記 URL よりダウンロードできます。
<http://www.adobe.com/jp/products/acrobat/readstep2.html>

Adobe および Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

CD-ROM マニュアルを読むには

CD-ROM に収納されている取扱説明書を読むには、次のようにします。

1 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

表紙ページが自動的にブラウザーで表示されます。ブラウザーで自動的に表示されないときは、CD-ROM に収録されている index.htm ファイルをダブルクリックしてください。

2 読みたい取扱説明書を選択してクリックする。

選択されたファイルが開きます。

メモ

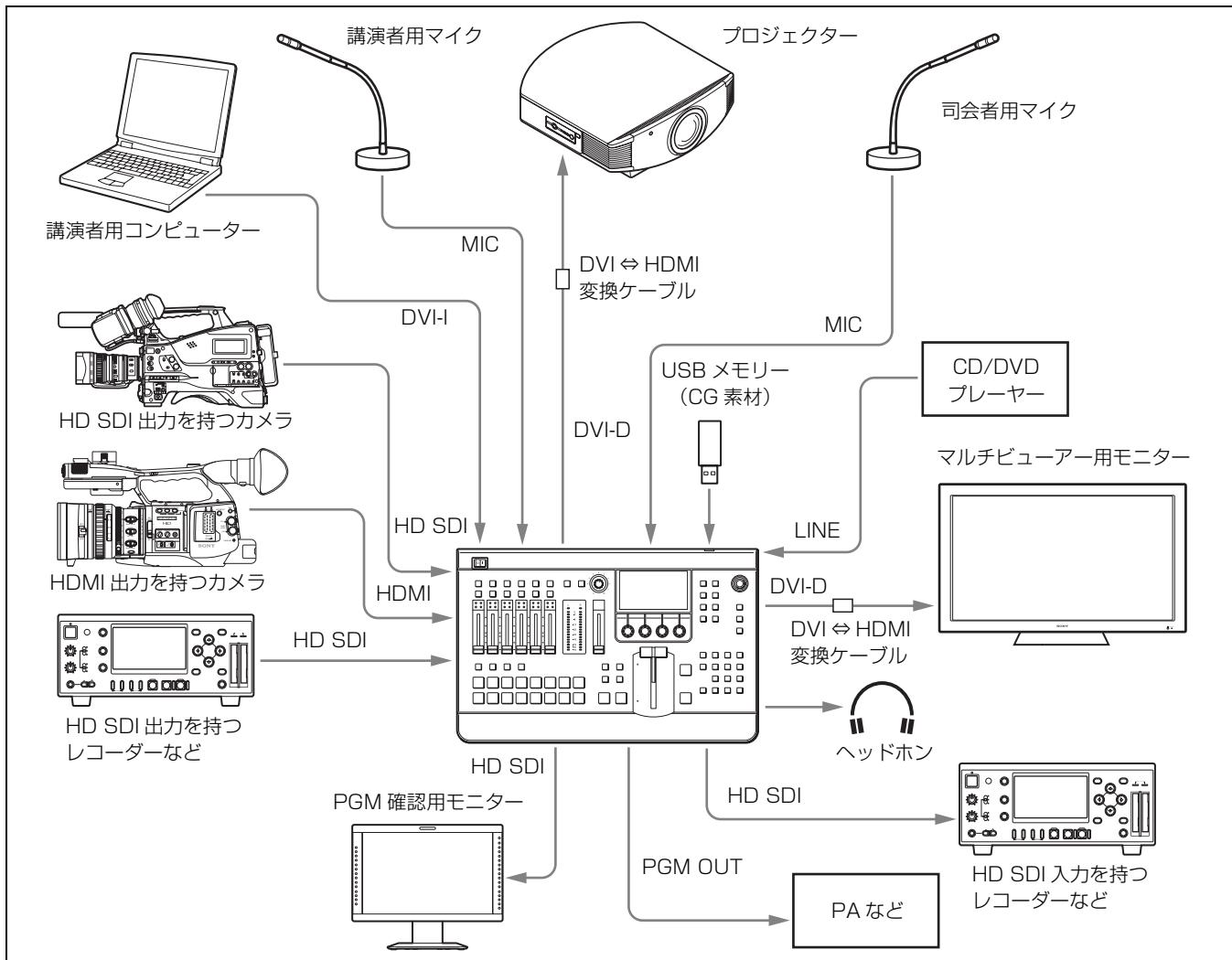
Adobe Reader のバージョンによって、ファイルが正しく表示されないことがあります。正しく表示されない場合は、「準備」の項の URL より最新のソフトウェアをダウンロードしてお使いください。

概要

はじめに

マルチフォーマットコンパクトスイッチャー MCS-8M は、SD システム、HD システム、3D システムに対応した小型スイッチャーです。効果を付けながらのビデオスイッキングや、音声のミキシングが簡単な操作で行えます。

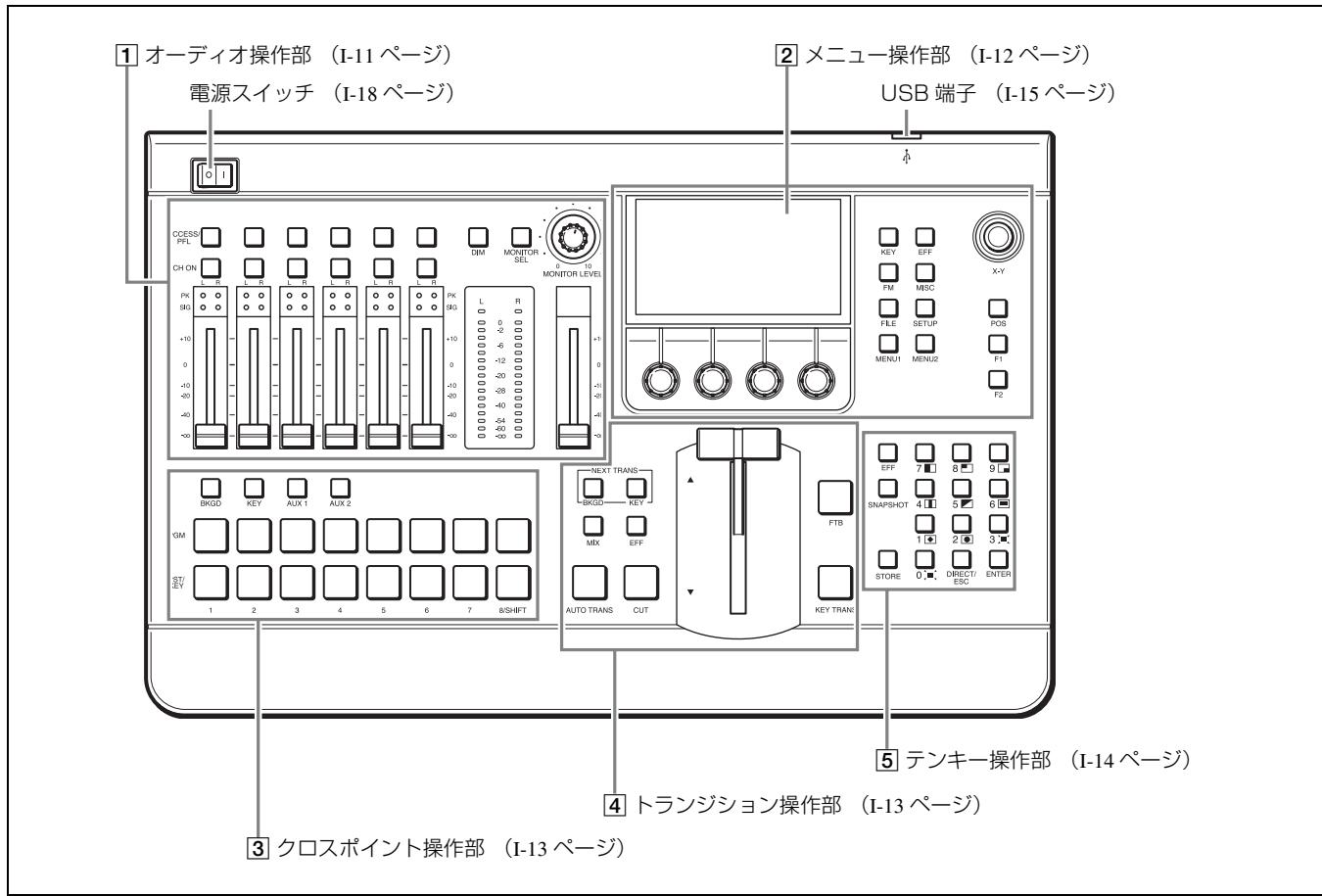
システム構成例) ライブ収録／演出システム (HD システムの場合)



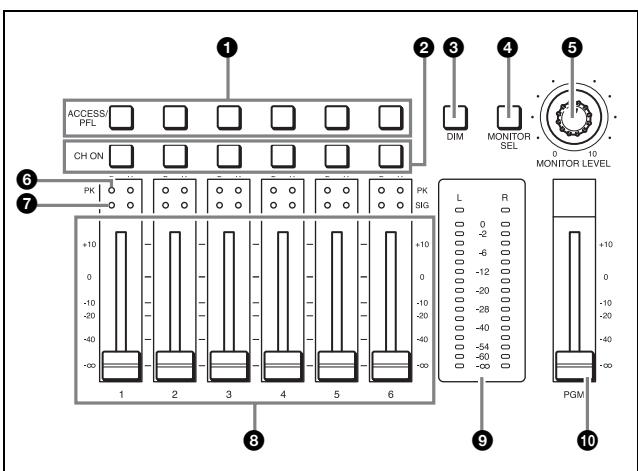
SD システム、3D システムの構成例は、「システム構成例」(→ 詳細設定編) をご覧ください。

各部の名称

フロントパネル

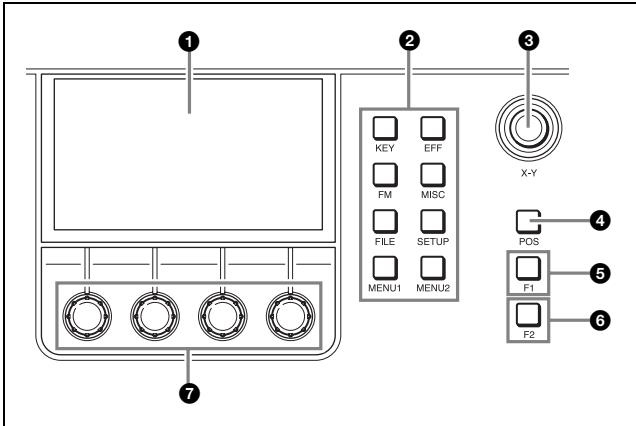


1 オーディオ操作部



- 1 ACCESS/PFL (アクセス／プリフェーダーリッシュ) ボタン (I-37、→ 詳細設定編)
- 2 CH ON (チャンネルオン) ボタン (I-36 ページ)
- 3 DIM (ディマー) ボタン (I-37 ページ)
- 4 MONITOR SEL (モニター選択) ボタン (I-36 ページ)
- 5 モニターレベル調整つまみ (I-37 ページ)
- 6 ピーク表示 (I-25 ページ)
- 7 インプットシグナル表示 (I-25 ページ)
- 8 チャンネルフェーダー (I-23、I-36 ページ)
- 9 オーディオレベルメーター (I-36 ページ)
- 10 プログラムフェーダー (I-36 ページ)

2 メニュー操作部



① メニューディスプレイ

② トップメニュー選択ボタン

ボタンに応じたメニューを表示します。選択されたボタンはオレンジ色に点灯します。

• KEY (キー) ボタン (I-32 ページ)

[Key] メニューを表示します。 (→ 詳細設定編)

• EFF (エフェクト) ボタン

[Effect] メニューを表示します。 (→ 詳細設定編)

• FM (フレームメモリー) ボタン

[Frame Memory] メニューを表示します。

(→ 詳細設定編)

• MISC (その他) ボタン

[Misc] メニューを表示します。 (→ 詳細設定編)

• FILE (ファイル) ボタン

[File] メニューを表示します。 (→ 詳細設定編)

• SETUP (セットアップ) ボタン (I-19 ~ I-26 ページ)

[Setup] メニューを表示します。 (→ 詳細設定編)

• MENU (メニュー) 1、2 ボタン (メニューショートカットボタン)

任意のメニューのショートカットを割り付けることができます。

メニューショートカットを割り付けるには

割り付けたいメニューがメニューディスプレイに表示されているときに MENU ボタンを長押しする。

メニューショートカットの割り付けを解除するには

MENU ボタンを長押しする。

ご注意

- 登録内容を保存するには、電源を切る前に、[Setup] メニューの [Startup Define] を行ってください。 (I-39 ページ)
- MENU ボタンに割り付けられているメニューショートカットを変更するときには、メニューショートカットを解除した後、割り付けを行ってください。

• 3D モードでは MENU ボタンにメニューショートカットを割り付けることはできません。

③ X-Y ポインター (→ 詳細設定編)

④ POS (ポジション) ボタン (→ 詳細設定編)

⑤ F1 ボタン

リサイザ機能がオンのときに、X-Y ポインターをリサイザとポジショナーのどちらで使用するかを切り替えます。

リサイザで使うときはオレンジ、ポジショナーで使うときは緑に点灯します。

メモ

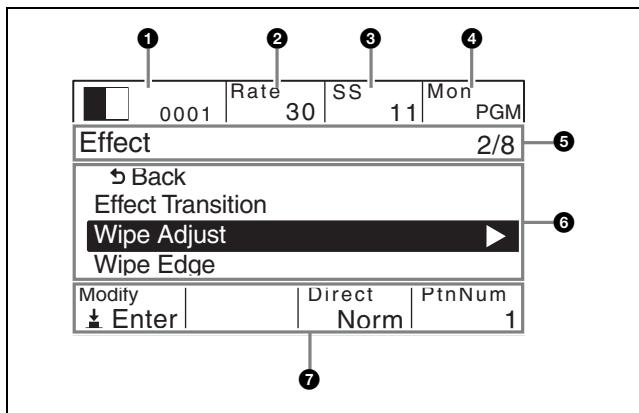
リサイザ機能がオフのときは、このボタンは消灯し、動作しません。

⑥ F2 ボタン

クロマキーのサンプルマークの表示がオンのときに押すと、オートクロマキーが実行されます (I-33 ページ)。

⑦ 調整つまみ 1 ~ 4 (V1 ~ V4) (I-13 ページ)

メニュー画面の見かた



① エフェクトパターンエリア (I-40 ページ)

エフェクトトランジションで現在選択されているエフェクトパターンアイコンと番号を表示します。

② トランジションレートエリア (I-30 ページ)

現在のエフェクトトランジションのトランジションレートを表示します。

③ スナップショットエリア (I-37 ページ)

④ オーディオモニターエリア (I-36 ページ)

⑤ メニュー名エリア

左側: 現在のメニュー名

右側: 現在選択されているメニュー項目の番号やメッセージ (→ 詳細設定編) を表示します。

⑥ 項目エリア

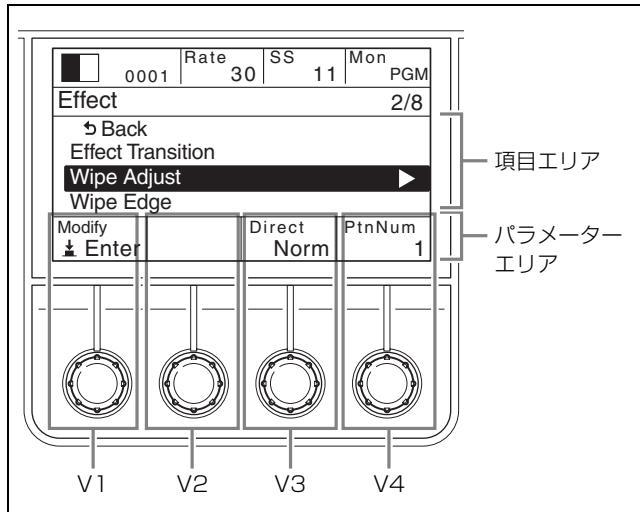
メニュー項目を表示します。

⑦ パラメーターエリア

パラメーターネームと設定値を表示します。

メニュー操作のしかた

トップメニュー選択ボタンまたは ACCESS/PFL ボタンを押すと、画面下部のパラメーターエリアに設定値や項目が表示されます。調整や選択には、それぞれの調整つまみが対応しています。



調整つまみの基本操作

項目エリア

V1 つまみを左右に回すと、カーソルが上下に移動します。▶がある項目では、V1 つまみを押すと、1 つ下の階層に移動します。

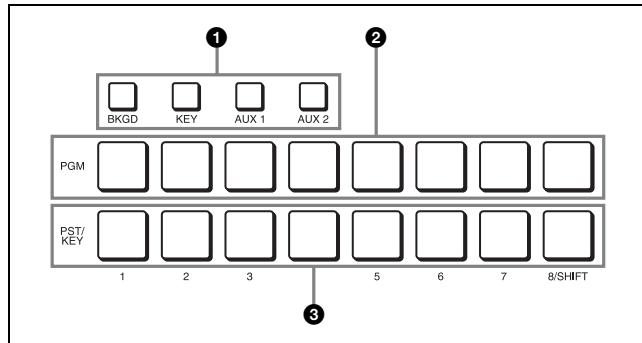
パラメーターエリア

V2～V4 つまみを左右に回すと、設定値の増減や選択ができます。

[Effect] メニュー、[Key] メニュー（[Resizer] メニューの一部を除く）、および、[Misc] メニューの小数点付きのパラメーターは、つまみを押しながら回すと、微調整することができます。

項目にアクション（保存や設定値の確定など）が含まれている場合は、つまみを押すと、対象のアクションが実行されます。

3 クロスポイント操作部



① バスデリゲーションボタン

クロスポイントボタンで操作できるバスを変更します。このとき、選択できるトランジションタイプも変わります。

バスデリゲーションボタン	クロスポイントボタンで操作できるバス		選択できるトランジションタイプ選択ボタン
	PGM 列	PST/KEY 列	
BKGD	PGM バス	PST バス	MIX、EFF
KEY	PGM バス	KEY バス（フィルバスおよびソースバス）	MIX、EFF
AUX 1	Aux1 PGM バス	Aux1 PST バス	MIX 固定
AUX 2	Aux2 PGM バス	Aux2 PST バス	MIX 固定

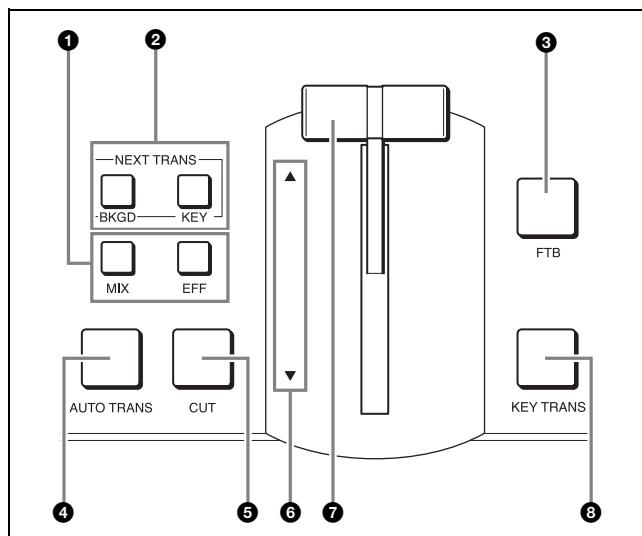
キーソースを選択するには

KEY ボタンを押したまま、PST/KEY クロスポイントボタンを押します。

② PGM (プログラム) クロスポイントボタン 1～8/SHIFT (シフト) (I-21、I-28 ページ)

③ PST/KEY (プリセット/キー) クロスポイントボタン 1～8/SHIFT (シフト) (I-21、I-28 ページ)

4 トランジション操作部



① トランジションタイプ選択ボタン

- MIX (ミックス) ボタン (I-30、I-32、I-33 ページ)
- EFF (エフェクト) ボタン (I-32、I-33 ページ)

② ネクストトランジション選択ボタン

- BKGD (バックグラウンド) ボタン (I-14 ページ)
- KEY (キー) ボタン (I-14、I-32、I-33 ページ)

③ FTB (フェードトゥブラック) ボタン

FTB ボタンを押すと、プログラム出力されている映像が、黒画面にフェードアウトします。もう一度 FTB ボタンを押すと、黒画面から元の映像にフェードインします。

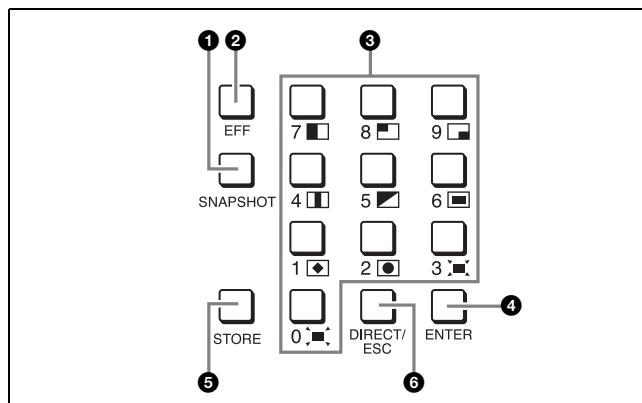
④ AUTO TRANS (オートトランジション) ボタン (I-29 ページ)**⑤ CUT (カット) ボタン (I-29 ページ)****⑥ トランジションインジケーター (I-30 ページ)****⑦ フェーダーレバー (I-29 ページ)****⑧ KEY TRANS (キートランジション) ボタン
(→ 詳細設定編)****ネクストトランジション選択ボタンの使いかた**

ボタンを押して点灯させることにより、次のトランジションで画像のどの部分を変化させるかを指定します。

ネクストトランジション選択ボタン	動作
BKGD	次のトランジションでバックグラウンド画像を切り替えます。
KEY	次のトランジションでキーを挿入または削除します。現在キーが挿入されていない場合はトランジションによって挿入され、挿入されている場合は削除されます。
BKGD + KEY (同時押し)	次のトランジションでバックグラウンド画像の切り替えとキーの挿入／削除を行います。

メモ

バスディリゲーションボタンの AUX 1 ボタンまたは AUX 2 ボタンが選択状態のときは、BKGD 固定となります。

5 テンキー操作部**① SNAPSHOT (スナップショット) ボタン (I-37 ページ)****② EFF (エフェクト) ボタン (I-31 ページ)****③ 数値ボタン (0 ~ 9) (I-30 ページ)****④ ENTER (確定) ボタン (I-31、I-38 ページ)****⑤ STORE (ストア) ボタン (I-38 ページ)****⑥ DIRECT/ESC (ダイレクト／エスケープ) ボタン (I-31 ページ)****数値入力のしかた**

エフェクトパターン番号の指定や、スナップショットの保存／呼び出しのときに、テンキーで数値を入力します。

① EFFボタンまたはSNAPSHOTボタンを押して点灯させる。

(エフェクトパターン番号を指定するときは、DIRECT/ESC ボタンを消灯させます。)

② 数値ボタン (0 ~ 9) を押して、数値を入力する。

メニュー画面上部の該当するエリアに入力した数値が白色で表示されます。

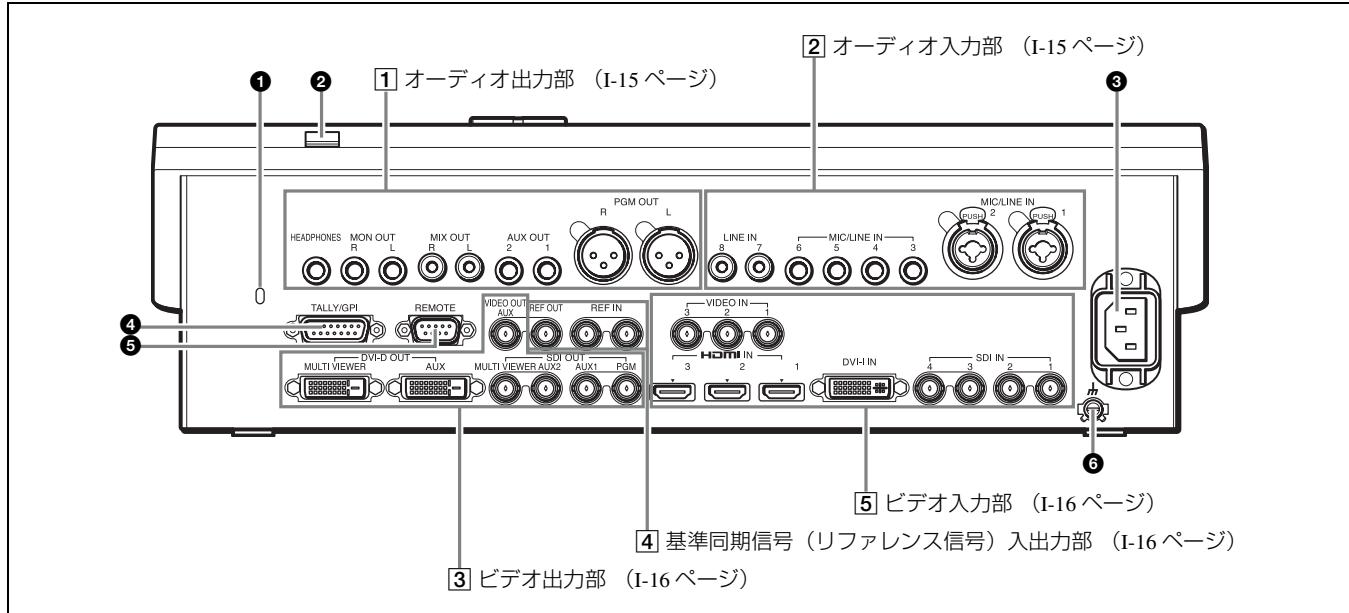
③ ENTER ボタンを押して確定する。

確定すると、数値がオレンジ色に変わります。

メモ

数値を入力した後、ENTER ボタンを押す前に DIRECT/ESC ボタンを押すと、数値入力がキャンセルされます。

後面



① 盗難防止ワイヤー取り付けスロット

盗難防止のために、市販の盗難防止ワイヤーを取り付け
るための穴 (3 mm × 7 mm) です。

② USB 端子

端子直接接続型の USB メモリーの接続に使用します。

③ ~ AC IN (電源入力) 端子 (I-18 ページ)

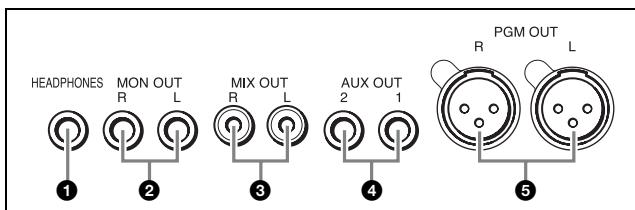
④ TALLY/GPI (タリー／ GPI) 端子 (D-sub 15 ピン、凸) (I-45 ページ)

⑤ REMOTE (リモート) 端子 (RS-232C、D-sub 9 ピン、凸) (I-45 ページ)

⑥ アース端子

システムの接地線に接続します。

1 オーディオ出力部



① HEADPHONES (ヘッドホン) 端子 (標準ステレオ フォン) (I-37 ページ)

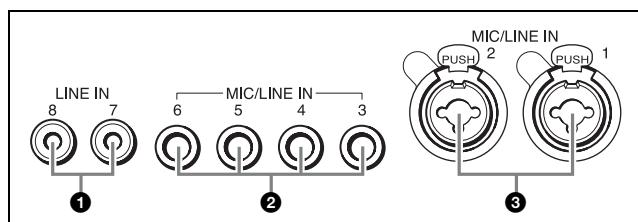
② MON OUT (モニター出力) L、R 端子 (TRS フォン) (I-36 ページ)

③ MIX OUT (ミックス出力) L、R 端子 (ピンジャック) (→ 詳細設定編)

④ AUX OUT (オグジュアリー出力) 1、2 端子 (TRS フォン) (→ 詳細設定編)

⑤ PGM OUT (プログラム出力) L、R 端子 (XLR、凸) (I-36 ページ)

2 オーディオ入力部

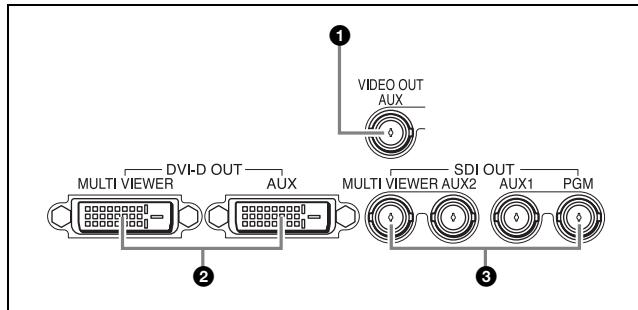


① LINE IN (ライン入力) 7、8 端子 (ピンジャック) (I-23 ページ)

② MIC/LINE IN (マイク／ライン入力) 3 ~ 6 端子 (TRS フォン) (I-23 ページ)

③ MIC/LINE IN (マイク／ライン入力) 1、2 端子 (XLR、凹と TRS フォンのコンボ) (I-23 ページ) 電源供給 (コンデンサーマイク用) は行いません。

3 ビデオ出力部



① VIDEO OUT AUX (ビデオ出力オグジュアリー) 端子 (BNC 型) (→ 詳細設定編)
映像確認用途の出力です。

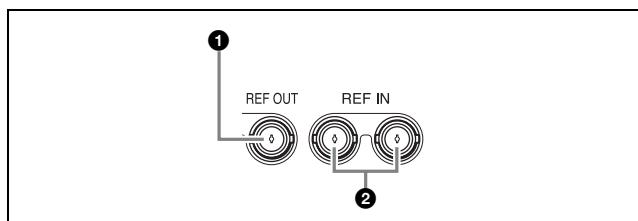
② DVI-D OUT (DVI-D 出力) 端子 (DVI-D 型)

- MULTI VIEWER (マルチビューアー) 端子 (I-27 ページ)
- AUX (オグジュアリー) 端子 (→ 詳細設定編)
1080i/59.94、1080i/50、720p/59.94、720p/50 の信号が
出力されます。

③ SDI OUT (SDI 出力) 端子 (BNC 型)

- MULTI VIEWER (マルチビューアー) 端子 (I-27 ページ)
- AUX (オグジュアリー) 1、2 端子 (→ 詳細設定編)
- PGM (プログラム) 端子 (I-36 ページ)

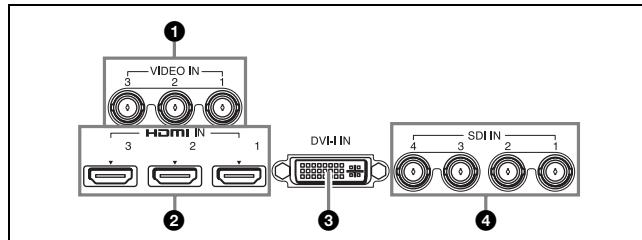
4 基準同期信号 (リファレンス信号) 入出力部



① REF OUT (基準同期信号出力) 端子 (BNC 型)
ブラックバースト (BB) 信号が常に出力されます。 (I-43 ページ)

② REF IN (基準同期信号入力) 端子 (BNC 型)
外部からの基準同期信号を入力します。一方の端子は
ループスルー出力端子として使用します。ループスルー
機能を使用しない場合は、75 Ω 終端器を取り付けてく
ださい。 (I-18 ページ)

5 ビデオ入力部



① VIDEO IN (ビデオ入力) 1 ~ 3 端子 (BNC 型)
(I-21 ページ)

② HDMI IN (HDMI 入力) 1 ~ 3 端子 (I-21 ページ)

③ DVI-I IN (DVI-I 入力) 端子 (DVI-I 型) (I-21 ページ)

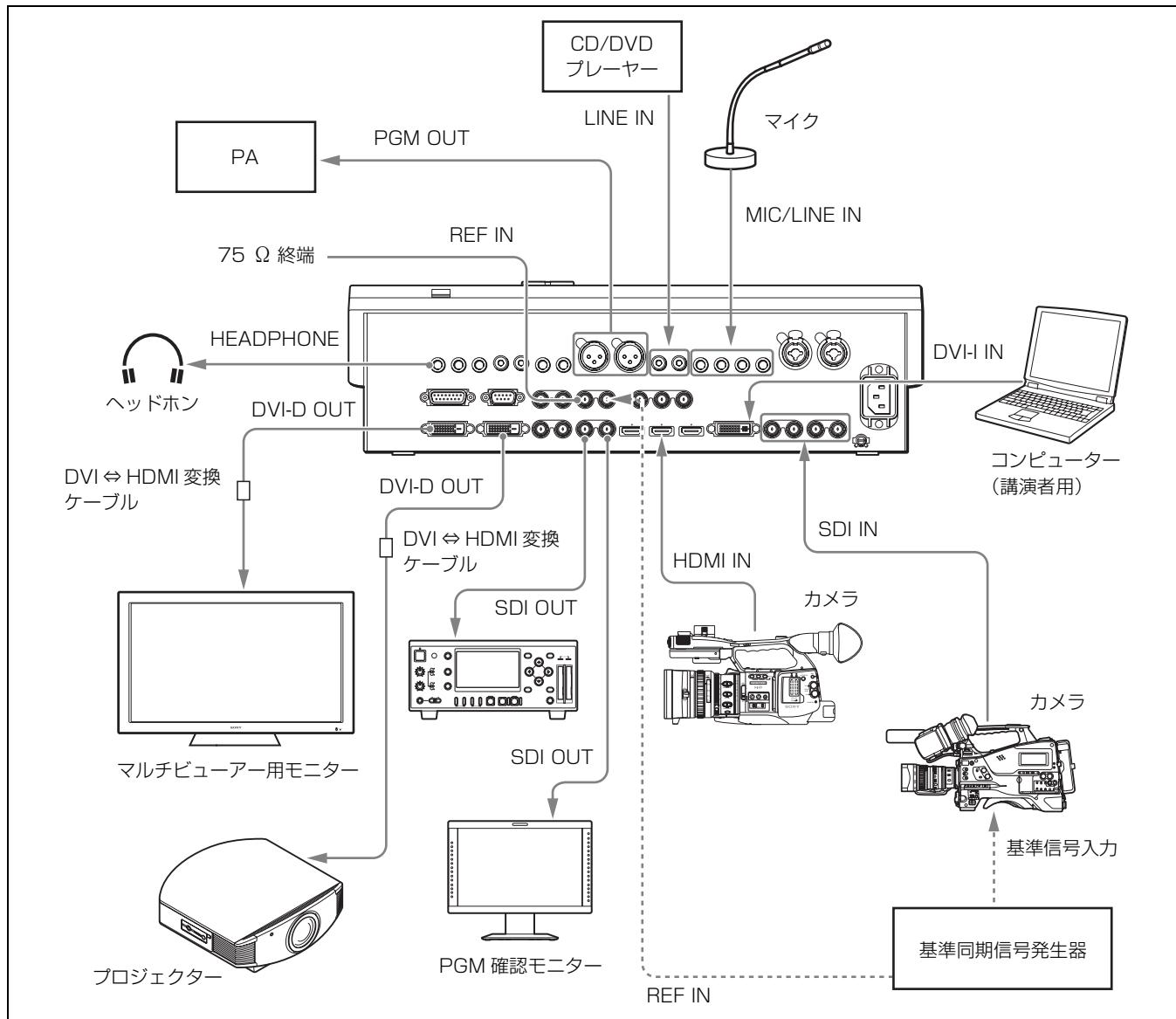
④ SDI IN (SDI 入力) 1 ~ 4 端子 (BNC 型)
(I-21 ページ)

準備

各機器と接続する

本機後面に各機器を接続します。

接続例) HD システムの場合

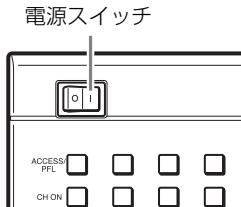


ご注意

- 基準同期信号発生器を使用する場合に、本機に入力した基準同期信号をループスルー出力しないときは、同期信号を接続していないほうの REF IN 端子に $75\ \Omega$ 終端器を取り付けてください (I-16 ページ参照)。また、本機に接続する各機器にも $75\ \Omega$ の終端抵抗を入れてください。終端抵抗の入れかたについては、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機を外部同期信号が入力できない機器と接続する場合は、その機器を接続した SDI 入力端子のフレームシンクロナイザー機能を有効にすると同期を取ることができます (デフォルト: 有効)。設定方法については、「[Video (Input)] メニューの詳細」(→ 詳細設定編) をご覧ください。VIDEO IN 1 ~ 3 端子については、常に有効になっています。

電源を入れる／切る**電源を入れるには**

- 別売りの電源コードを本機後面の～ AC IN 端子に接続し、もう一方を AC 電源に接続する。
- 電源スイッチの I 側を押す。



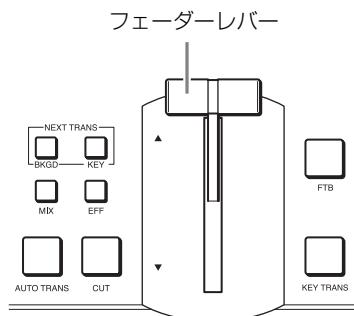
電源が入り、本機が起動します。

起動が完了すると、メニュー画面がメニューディスプレイに表示され、操作可能な状態になります。

メモ

起動直後は、Misc (その他) メニューが表示されます。

- フェーダーレバーを上端か下端に振り切る。

**電源を切るには**

電源スイッチの O 側を押す。

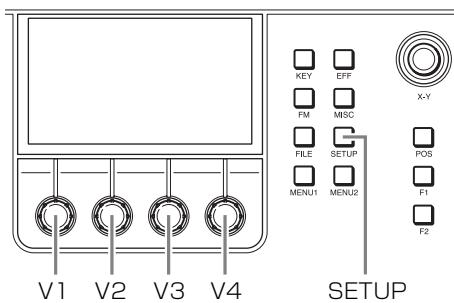
ご注意

電源を切ると、現在のエフェクトやキー、セットアップの設定内容は保存されません。現在の設定内容を保存するには、[Setup] メニューの [Startup Define] を行ってください。

◆ 操作方法は、「設定内容を保存する」 (I-39 ページ) をご覧ください。

システムに関する設定をする

メニュー操作部で、システムのモードや日付と時刻を設定します。



- ◆ メニュー操作について詳しくは、「メニュー操作のしかた」(I-13 ページ)をご覧ください。

信号フォーマットとアスペクト比を設定する

本機が扱う映像信号のフォーマットとアスペクト比を設定します。

- 1 SETUP ボタンを押し、[Setup] メニューを表示する。
- 2 V1 つまみで [System] を選択し、つまみを押す。

0001	Rate 30	SS	Mon PGM
Setup	2/11		
Startup Define			
System	▶		
Audio	▶		
Video (Input)	▶		
Select			
↓ Enter			

- 3 V1 つまみで [System Format] を選択し、各つまみで信号フォーマットとアスペクト比を選択する。

0001	Rate 30	SS	Mon PGM
System	1/8		
↳ Back			
System Format			
3D Mode			
System Reference			
Select		Format	Aspect
		108059	16:9

つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V3	Format	信号 フォーマット	108059 、108050、 720p59、720p50、 480i59、576i50、 Test1、Test2、Test3
V4	Aspect	アスペクト比	16:9 、4:3

設定値について

108059 : 1080i/59.94 (HD モード)

108050 : 1080i/50 (HD モード)

720p59 : 720p/59.94 (HD モード)

720p50 : 720p/50 (HD モード)

480i59 : 480i/59.94 (SD モード)

576i50 : 576i/50 (SD モード)

Test1 : テスト用¹⁾

Test2 : テスト用

Test3 : テスト用

- 1) HDMI 入力 1～3 に VGA 信号 (640 × 480/59.94p、60p) を入力し、[Test 1] を選択した場合は、PGM クロスボイントボタン 6～8 で HDMI 入力 1～3 を選択すると、480i/59.94 の信号が PGM OUT に出力されます。

ご注意

Test1～3 はテスト用の設定ですので、ふだんは使用しないでください。Test1～3 を使用した場合、機能／性能は保証されません。

- 4 V3 または V4 つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

- 5 V3 つまみを押す。

		OK	
--	--	----	--

確認メッセージが消えます。

- 6 本機の電源を入れなおす。

設定した信号フォーマットとアスペクト比で起動します。

ご注意

- ・信号フォーマットをHDモードにした場合は、アスペクト比を4:3に設定できません。
- ・エフェクトやキー、そのほかのセットアップの設定内容を保存するには、電源を切る前に、[Setup]メニューの[Startup Define]を行ってください。(I-39ページ参照)
- ・ほかの再起動が必要な項目を設定する場合は、すべての設定が終った後に、電源を入れなおしてください。

日付と時刻を設定する

本機の内部時計を設定します。

- 1 SETUPボタンを押し、[Setup]メニューを表示する。
- 2 V1つまみで[System]を選択し、つまみを押す。

■	0001	Rate 30	SS	Mon	PGM
Setup	2/11				
Startup Define					
System	▶				
Audio	▶				
Video (Input)	▶				
Select					
↓ Enter					

- 3 V1つまみで[Date]を選択し、各つまみで日付を設定する。

■	0001	Rate 30	SS	Mon	PGM
System	6/8				
Date	▶				
Time	▶				
LCD Backlight	▶				
↳ Back	▶				
Select	Year	Month	Day		
2011	1	1	1		

つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V2	Year	年(西暦)	2000 ~ 2099
V3	Month	月	1 ~ 12
V4	Day	日	1 ~ 31

- 4 V2またはV3、V4つまみを押す。

- 5 V1つまみで[Time]を選択し、各つまみで時刻を設定する。

■	0001	Rate 30	SS	Mon	PGM
System	7/8				
Date					
Time	▶				
LCD Backlight	▶				
↳ Back	▶				
Select		Hour	Min		
	12	0			

つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V3	Hour	時	0 ~ 23
V4	Min	分	0 ~ 59

- 6 V3またはV4つまみを押す。

ビデオ信号に関する設定をする

映像信号を本機で扱うための設定をします。

ビデオ信号をクロスポイントボタンに割り当てる

後面パネルの映像入力端子から入力される映像信号や内部信号を、クロスポイント操作部のクロスポイントボタン 1 ~ 8 (PGM、PST/KEY) に割り当てます。

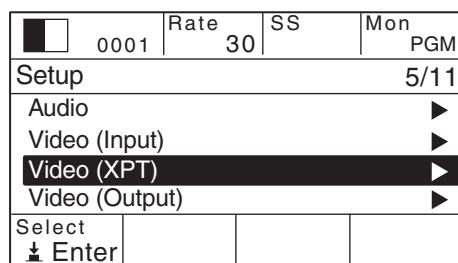
信号名	内容
SDI 1 ~ 4	<p>システムモードによって、入力できる信号が異なります。</p> <p>SD モードのとき：</p> <p>SDI IN 1 ~ 4 端子から入力される SDI 信号のビデオを割り当てます。</p> <p>HD モードのとき：</p> <p>SDI IN 1 ~ 4 端子から入力される HD SDI 信号のビデオを割り当てます。</p>
HDMI 1 ~ 3	<p>HD モードのとき：</p> <p>HDMI 1 ~ 3 端子から入力される HDMI 信号のビデオを割り当てます。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> SD モードのときは使用できません。 著作権保護 (HDCP) されたコンテンツは使用できません。
VIDEO 1 ~ 3	<p>SD モードのとき：</p> <p>VIDEO 1 ~ 3 端子から入力されるアナログコンポジット信号のビデオを割り当てます。</p> <p>ご注意</p> <p>HD モードのときは使用できません。</p>
DVI-I	<p>システムモードによって、入力できる信号が異なります。</p> <p>DVI-I 端子から入力される DVI-I 信号のビデオを割り当てます。</p> <p>アナログ：XGA (1024 × 768) 60 Hz、 SXGA (1280 × 1024) 60 Hz、 WXGA (1280 × 768) 60 Hz</p> <p>デジタル：</p> <p>システムフォーマットが 720p/59.94、720p/50、 480i/59.94、576i/50 のとき：使用できません。</p> <p>システムフォーマットが 1080i/59.94、1080i/50 のとき：1080p/50、1080p/60</p>

ご注意

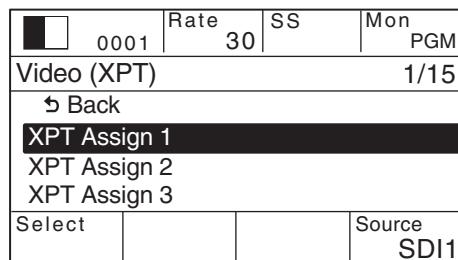
SDI 1 ~ 4、HDMI 1 ~ 3、VIDEO 1 ~ 3 は、[Setup] メニューの [System Format] で設定されているフォーマットの信号のみ入力が可能です。

1 SETUP ボタンを押し、[Setup] メニューを表示する。

2 V1 つまみで [Video (XPT)] を選択し、つまみを押す。



3 V1 つまみで映像信号を割り当てるクロスポイントボタンの番号 ([XPT Assign 1] ~ [XPT Assign 14]) を選択し、V4 つまみで映像信号の種類を選択する。



つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V4	Source	映像信号	Black、 SDI1 ~ 4、DVI、 H/V1 ~ 3、 ColBg、FM、 PGM

設定値について

Black：ブラック映像

SDI1 ~ 4：SDI IN 1 ~ 4 端子からの入力映像

DVI：DVI-I IN 端子からの入力映像

H/V1 ~ 3：HDMI IN1 ~ 3 端子または VIDEO IN

1 ~ 3 端子からの入力映像

ColBg：カラーバックグラウンド映像

FM：フレームメモリー映像

PGM：プログラム出力映像

4 手順 3 を繰り返し、ほかのボタンへの割り当てを行う。

メモ

工場出荷時は、以下のように設定されています。

PGM、PST/KEY クロスポイントボタン	初期値
1	SDI1
2	SDI2
3	SDI3
4	SDI4
5	DVI
6	H/V1
7	H/V2
8	H/V3

設定値について

XGA：アナログ、1024 × 768/60

SXGA：アナログ、1280 × 1024/60

WXGA：アナログ、1280 × 768/60

HDTV50：デジタル、1080p/50

HDTV60：デジタル、1080p/60

ご注意

HDTV50、HDTV60 は、システムフォーマットが 1080i/59.94 または 1080i/50 に設定されているときのみ選択できます。このとき、DVI 入力映像は、1080p の信号のみ入力できます。

DVI-I 端子に入力する信号のフォーマットを設定する

DVI 入力映像を使用する場合は、後面パネルの DVI-I 端子に入力する信号のフォーマットを設定します。

- 1 SETUP ボタンを押し、[Setup] メニューを表示する。
- 2 V1 つまみで [Video (Input)] を選択し、つまみを押す。

■	0001	Rate 30	SS	Mon PGM
Setup	4/11			
Audio	▶			
Video (Input)	▶			
Video (XPT)	▶			
Video (Output)	▶			
Select	↓	Enter		

- 3 V1 つまみで [DVI] を選択し、V3 つまみで信号フォーマットを選択し、つまみを押す。

■	0001	Rate 30	SS	Mon PGM
Video (Input)	5/11			
DVI	▶			
HDMI1				
HDMI2				
HDMI3				
Select		Format	Name	
		XGA	DVI	

つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V3	Format	DVI-I 入力映像信号のフォーマット	XGA、SXGA、WXGA、HDTV50、HDTV60

音声信号に関する設定をする

音声信号を本機で扱うための設定をします。

音声入力信号をチャンネルフェーダーに割り当てる

後面パネルのオーディオ入力端子から入力されるオーディオ信号を、チャンネルフェーダー（1～6）に割り当てます。

チャンネルフェーダーの左右のチャンネル（L/R）に別々の音声を割り当てるときステレオフェーダーとなり、左右とも同じ音声を割り当てるときモノラルフェーダーとなります。

オーディオ入力信号について

信号	内容
MIC/LINE 1～6	MIC/LINE IN 1～6 端子から入力されるオーディオを割り当てます。
LINE 7、8	LINE IN 7、8 端子から入力されるオーディオを割り当てます。
SDI 1～4	SDI IN 1～4 端子から入力される SDI 信号のエンベデッドオーディオを割り当てます。 ご注意 <ul style="list-style-type: none">エンベデッドオーディオ信号は CH-1 と CH-2 のみに割り当てできます。ステレオとして割り当てられます。
HDMI 1～3	HD モードのとき： HDMI 1～3 端子から入力されるエンベデッドオーディオを割り当てます。 ご注意 <ul style="list-style-type: none">エンベデッドオーディオ信号は CH-1 と CH-2 のみに割り当てできます。HD モードのときにステレオとして割り当てられます。SD モードのときは使用できません。

1 SETUP ボタンを押し、[Setup] メニューを表示する。

2 V1 つまみで [Audio] を選択し、つまみを押す。

0001	Rate 30	SS	Mon PGM
Setup 3/11			
Startup Define			
System			
Audio			
Video (Input)			
Select			
↓ Enter			

3 V1 つまみで音声信号を割り当てるチャンネルフェーダーの番号（[Audio Input Assign 1]～[Audio Input Assign 6]）を選択し、V3、V4 つまみで L、R の音声信号を選択する。

0001	Rate 30	SS	Mon PGM
Audio	1/20		
↳ Back			
Audio Input Assign 1			
Audio Input Assign 2			
Audio Input Assign 3			
Select	AVLink Off	Left M/L1	Right M/L1

つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V3	Left	L の音声信号	NotUse、M/L1、M/L2、M/L3、M/L4、M/L5、M/L6、L7、L8、SDI1L、SDI2L、SDI3L、SDI4L、HDMI1L、HDMI2L、HDMI3L
V4	Right	R の音声信号	NotUse、M/L1、M/L2、M/L3、M/L4、M/L5、M/L6、L7、L8、SDI1R、SDI2R、SDI3R、SDI4R、HDMI1R、HDMI2R、HDMI3R

4 手順 3 を繰り返し、ほかのチャンネルフェーダーへの割り当てを行う。

メモ

工場出荷時は、以下のように割り当てられています。

チャンネルフェーダー (L/R)	初期値
1 (L/R)	MIC/LINE IN 1
2 (L/R)	MIC/LINE IN 2
3 (L/R)	MIC/LINE IN 3
4 (L/R)	MIC/LINE IN 4
5 (L)	MIC/LINE IN 5
5 (R)	MIC/LINE IN 6
6 (L)	LINE IN 7
6 (R)	LINE IN 8

AV Linkについて

PGM バスのクロスポイントボタン番号（1～6）と同じ番号のオーディオチャンネルフェーダーを連動させることができます（AV Link 機能）。AV Link がオンになっているクロスポイントボタンを押すと、同じ番号のオーディオチャンネルがオンになります。このとき、AV Link がオンに設定されている他のオーディオチャンネルはオフになります。また、AV Link の設定にかかわらず、オーディオチャンネルのオン・オフはできます。

ご注意

クロスポイントボタンのデリゲーションが AUX1、AUX2 のときは AV Link は機能しません。

- 1 SETUP ボタンを押し、[Setup] メニューを表示する。
- 2 V1 つまみで [Audio] を選択し、つまみを押す。

0001	Rate 30	SS	Mon PGM		
Setup	3/11				
Startup Define		▶			
System		▶			
Audio		▶			
Video (Input)		▶			
Select					
↓ Enter					

- 3 V1 つまみで AV Link を設定したいチャンネルフェーダーの番号（[Audio Input Assign 1]～[Audio Input Assign 6]）を選択し、V2 つまみで AV Link の設定をする。

0001	Rate 30	SS	Mon PGM
Audio	1/20		
↶ Back			
Audio Input Assign 1			
Audio Input Assign 2			
Audio Input Assign 3			
Select	AVLink Off	Left M/L1	Right M/L1
つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V2	AV Link	AV Link のオン／オフ	Off, On

- 4 手順 3 を繰り返し、ほかのチャンネルフェーダーへの割り当てを行う。

オーディオディレイについて

出力されている映像が音声よりも遅れている場合は、音声を遅らせることで映像に合わせることができます。

- 1 SETUP ボタンを押し、[Setup] メニューを表示する。
- 2 V1 つまみで [Audio] を選択し、つまみを押す。

0001	Rate 30	SS	Mon PGM		
Setup	3/11				
Startup Define		▶			
System		▶			
Audio		▶			
Video (Input)		▶			
Select					
↓ Enter					

- 3 V1 つまみで音声を遅らせたい音声出力（[Audio Output Delay 1]、[Audio Output Delay 2]）を選択し、V3、V4 つまみで遅延させる時間を設定する。

0001	Rate 30	SS	Mon PGM		
Audio	1/20				
SDI OUT MULTI VIEWER Assign		▶			
Audio Output Delay 1		▶			
Audio Output Delay 2		▶			
Output Level		▶			
Select					
PGM 1.00	MIX 1.00				

Audio Output Delay 1

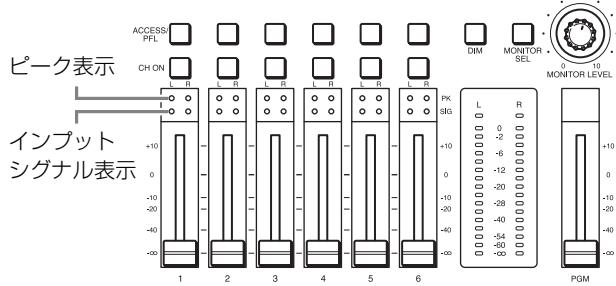
つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V3	PGM	PGM OUT 端子から出力される音声の遅延時間	0.00～7.50 (1.00)
V4	MIX	MIX OUT 端子から出力される音声の遅延時間	0.00～7.50 (1.00)

Audio Output Delay 2

つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V3	AUX1	AUX OUT 1 端子から出力される音声の遅延時間	0.00～7.50 (1.00)
V4	AUX2	AUX OUT 2 端子から出力される音声の遅延時間	0.00～7.50 (1.00)

音声入力のマイク／ラインレベルを設定する

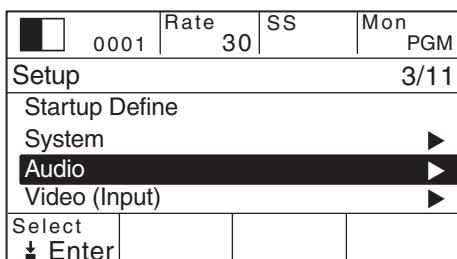
ピーク表示が赤く点灯していたり、音声信号が入力されているにもかかわらず、インプットシグナル表示が点灯しなかつたりするときは、マイク／ラインレベルを調整する必要があります。



ピーク表示が赤く点灯しているとき

入力した音声信号が大き過ぎると、チャンネルフェーダーのピーク表示が赤く点灯します。この場合、アナログマイク／ラインレベルが現在選択されている回路の入力レベルを超えているので、以下の手順で調整します。

- 1 SETUP ボタンを押し、[Setup] メニューを表示する。
- 2 V1 つまみで [Audio] を選択し、つまみを押す。



- 3 V1 つまみでマイク／ラインレベルを設定したい MIC/LINE IN 端子の番号（[MIC/LINE 1 Level] ~ [MIC/LINE 6 Level]）を選択し、V4 つまみでレベルを選択する。



- 4 手順 3 を繰り返し、ほかの MIC/LINE IN 端子のレベルを設定する。

設定例)

初期値の「- 20 dB」でピーク表示が点灯している場合は、「+ 4 dB」に設定します。（ただし、「+ 4 dB」に設定しても、ピーク表示が点灯することはあります。）

インプットシグナル表示が点灯しないとき

音声信号が入力されているにもかかわらず、インプットシグナル表示が点灯しないときは、マイク／ラインレベルが基準値に達していません。上記と同じ手順で該当するチャンネルのマイク／ラインレベルを低いほうに調整してください。

設定例)

初期値の「- 20 dB」でインプットシグナル表示が点灯しないときは、「- 44 dB」に設定します。

チャンネルごとに音質を調整する

本機に入力されている音声信号のレベルや、音声の高域、中域、低域の周波数を設定することで、音質を調整します。

- 1 調整したい音声が割り当てられているチャンネルフェーダーと同じ列の ACCESS/PFL ボタンを押して、[Audio Channel] メニューを表示する。

- 2 V1 つまみで [Input Trim] を選択し、V4 つまみで入力レベルを調整する。

つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V4	Level	入力レベルの調整	– 15 dB ~ + 15 dB (0 dB)

- 3 V1 つまみで調整したい音声の周波数 ([Equalizer High]、[Equalizer Mid]、[Equalizer Low]) を選択し、V2 でイコライザ機能をオンにし、V3 で中心周波数、V4 でレベルを設定する。

Equalizer High

つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V2	EQ H	高域の音質調整のオン／オフ	Off、On
V3	Freq	高域の中心周波数 (kHz)	1.30 k ~ 17.40 k (4.75 k)
V4	Level	高域のレベル	– 15 dB ~ + 15 dB (0 dB)

Equalizer Mid

つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V2	EQ M	中域の音質調整のオン／オフ	Off、On
V3	Freq	中域の中心周波数 (kHz)	260.0 k ~ 640.0 k (1.28 k)
V4	Level	中域のレベル	– 15 dB ~ + 15 dB (0 dB)

Equalizer Low

つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V2	EQ L	低域の音質調整のオン／オフ	Off、On
V3	Freq	低域の中心周波数 (Hz)	31.0 ~ 420.0 (114.1)
V4	Level	低域のレベル	– 15 dB ~ + 15 dB (0 dB)

マルチビューアーの設定をする

マルチビューアー出力には、本機に接続したモニターに複数の入力映像やプログラム出力映像、プレビュー出力映像などを同時に表示させることができます。画面表示は、4分割と10分割の選択が可能です。

4分割

1	2
3	4

10分割

1	2		
3	4	5	6
7	8	9	10

(数字は子画面の番号)

マルチビューアー出力例) 10分割

オンエアされている映像（プログラム映像）の子画面には、赤色の枠が表示されます。



マルチビューアーを使用する場合は、各子画面に出力する映像を設定します。

ご注意

フレームメモリーのキーがオンエアされているとき、赤枠は [FM-V] (ビデオ) の子画面に表示されます。

- 1 SETUP ボタンを押し、[Setup] メニューを表示する。

2 V1 つまみで [Multi Viewer] を選択し、つまみを押す。

0001	Rate 30	SS	Mon PGM
Setup	8/11		
Video (Misc)		▶	
Multi Viewer		▶	
GPI/Tally		▶	
Information		▶	
Select			
↓ Enter			

3 V1 つまみで [Viewer Mode] を選択し、V4 つまみで分割数を選択する。

0001	Rate 30	SS	Mon PGM
Multi Viewer	1/11		
↶ Back			
Viewer Mode		▶	
Signal Assign 1			
Signal Assign 2			
Select			Split
			10

つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V4	Split	分割数	4、10

4 V1 つまみで信号を割り付ける分割画面 ([Signal Assign 1] ~ [Signal Assign 10]) を選択し、V4 つまみで映像信号を選択する。

0001	Rate 30	SS	Mon PGM
Multi Viewer	2/11		
↶ Back			
Viewer Mode			
Signal Assign 1		▶	
Signal Assign 2			
Select			Source PVW

つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V4	Source	映像信号	Black、SDI1 ~ 4、DVI、H/V1 ~ 3、ColBg、FM-V、FM-K、PGM、PVW、Aux1PG、Aux1PV、Aux2PG、Aux2PV

設定値について

Black : ブラック映像

SDI1 ~ 4 : SDI IN 1 ~ 4 端子からの入力映像

DVI : DVI-I IN 端子からの入力映像

H/V1 ~ 3 : HDMI IN 1 ~ 3 端子または VIDEO IN 1 ~ 3 端子からの入力映像

ColBg : カラーバックグラウンド映像

FM-V : フレームメモリーのビデオ

FM-K : フレームメモリーのキー

PGM : プログラム出力映像

PVW : プレビュー出力映像

Aux1PG : Aux1 バスのプログラム出力映像

Aux1PV : Aux1 バスのプレビュー出力映像

Aux2PG : Aux2 バスのプログラム出力映像

Aux2PV : Aux2 バスのプレビュー出力映像

5 手順 4 を繰り返し、ほかの子画面を設定する。

メモ

工場出荷時は、各分割画面に以下の映像信号が割り当てられています。

分割画面	映像信号
1	PVW
2	PGM
3	SDI1
4	SDI2
5	SDI3
6	SDI4
7	DVI
8	H/V1
9	H/V2
10	H/V3

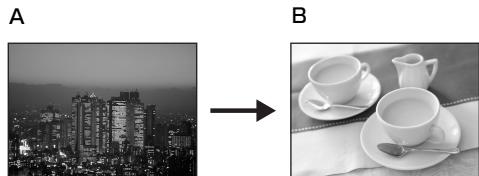
映像を切り換える

本機に入力している映像を切り換えたり、映像を合成して、PGM 出力端子からプログラム出力します。ここでは、簡単な操作で映像を切り換えたり、効果を付けながら切り換える方法について説明します。

- ◆ よく使う効果や設定を「スナップショット」として保存し、必要なときに呼び出して使うことができます。詳しくは、「スナップショット」(I-37 ページ)をご覧ください。

クロスポイントボタンで切り換える

最も基本的で、よく使われているスイッチングの方法です。何も効果を付けずに、瞬時に映像 A から B に切り換えます。

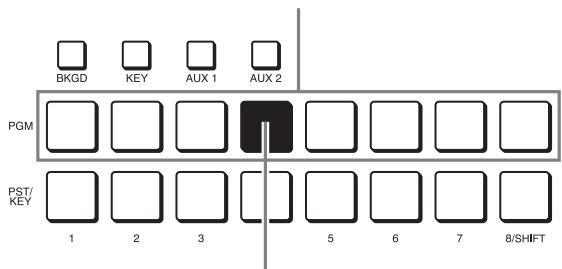


ほかの映像が割り当てられている PGM クロスポイントボタンを押すことで、カット切り換えができます。

- 1 クロスポイント操作部で、切り換えの対象となる映像が割り当てられている PGM クロスポイントボタンを押す。

押したボタンが赤色に点灯し、映像がプログラム出力されます。

PGM クロスポイントボタン



赤色に点灯しているボタンは、現在映像がプログラム出力されていることを示します。

- 2 次にプログラム出力する映像を決め、該当する PGM クロスポイントボタンを押す。

プログラム映像が切り換わります。

プレビュー映像で確認してから CUT ボタンで切り換える

次にプログラム出力する映像をプレビュー映像で確認してから切り換えます。

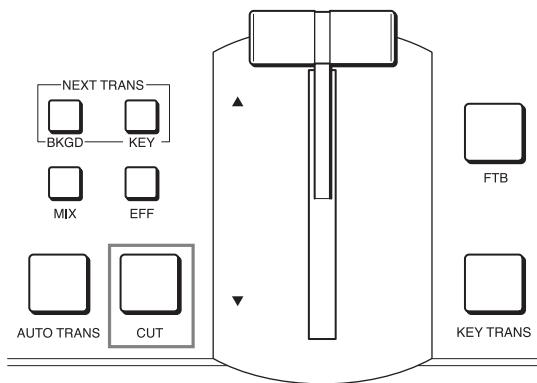
- 1 クロスポイント操作部で、切り換えの対象となる映像が割り当てられている PGM クロスポイントボタンを押す。

押した PGM クロスポイントボタンが赤色に点灯します。

- 2 次にプログラム出力する（切り換える）映像が割り当てられている PST/KEY クロスポイントボタンを押す。

押した PST/KEY クロスポイントボタンがオレンジ色に点灯し、選んだ映像が PVW 出力されます。

3 トランジション操作部で、CUT ボタンを押す。



プログラム映像とプレビュー映像が入れ替わります。
同時に、PGM クロスポイントボタンと PST/KEY クロスポイントボタンの点灯が入れ替わります。

効果を付けて切り換える（ミックス／エフェクト）

カット切り換えのように瞬時に映像が変わるのでなく、さまざまな効果（エフェクト）を付けて徐々に映像を切り換えていくこともできます。

ミックス（I-30 ページ）

映像を、オーバーラップさせながら次の映像に切り換えます。



エフェクト

ワイプ（Wipe）、ノンアディティブミックス（NAM）、スライド（Slide）、スクイーズ（Squeeze）、ドア（Door）、フレームインアウト（Frame In/Out）、フリップタンブル（Flip Tumble）、ピクチャーインピクチャー（PinP）、モザイク（Mosaic）、デフォーカス（Defocus）が使用できます。

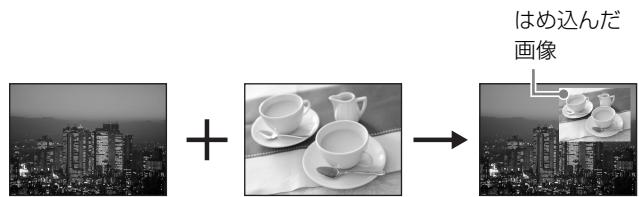
例）ワイプ（I-40 ページ）

プログラム出力映像を、次に出力する映像でぬぐい去るようく消していく効果を付けて、次の映像に切り換えます。



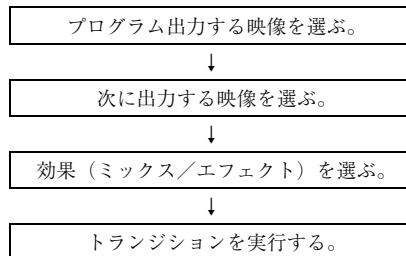
例）フレームインアウト（I-30 ページ）

映像の中に別の映像をはめ込むフレームインアウト効果で合成します。



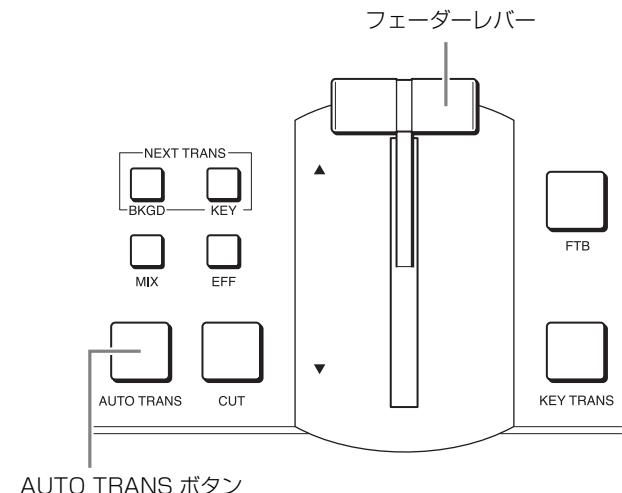
◆ 各エフェクトには数種類のパターンが用意されています。パターンの種類については、「エフェクトパターン一覧」（I-40 ページ）をご覧ください。

基本操作の流れ



トランジションを実行するには

トランジション操作部の AUTO TRANS ボタンを押すか、フェーダーレバーを操作します。



AUTO TRANS ボタン（自動で実行）

あらかじめ設定された時間（トランジションレート）で、自動的に映像が切り換わります。

◆ トランジションレートは、[Misc] メニューの [Transition Rate (1/2)] で変更できます。設定方法は、「トランジションレートを設定する」（I-30 ページ）をご覧ください。

フェーダーレバー (手動で実行)

レバーの動きに合わせて、映像が切り換わります。
トランジションインジケーターが点灯している方向にレバーを振ると、レバーの動きに合わせて、映像が切り換わります。
フェーダーレバーを倒し切ると、トランジション処理が終了し、反対側のトランジションインジケーターが点灯します。

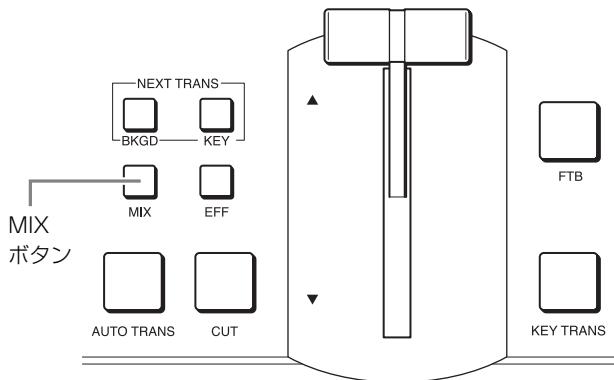
ご注意

インジケーターが両方とも点灯しているときは、フェーダーレバーを上端または下端まで動かしてください。

ミックスで切り換える

- 1 プログラム出力する映像のPGMクロスポイントボタンを押す。
- 2 次に出力する映像のPST/KEYクロスポイントボタンを押す。
- 3 トランジション操作部のMIXボタンを押す。

ボタンがオレンジ色に点灯します。



- 4 トランジションを実行する。

トランジションレートを設定する

AUTO TRANSボタンでトランジションを実行したときの映像が切り換わる時間（トランジションレート）を変更できます。

- 1 MISCボタンを押し、[Misc]メニューを表示する。

- 2 V1つまみで[Transition Rate (1/2)]を選択し、V2つまみでトランジションレートを設定する。

0001	Rate 30	SS	Mon PGM
Misc 1/4			
Transition Rate (1/2)			
Transition Rate (2/2)			
Color BKGD			
Port Enable			
Select	Effect 30	Key 30	FTB 30

つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V2	Effect	エフェクトトランジション	1～999フレーム (30)
V3	Key	キートランジション	1～999フレーム (30)
V4	FTB	FTB(フェードトゥブラック)トランジション	1～999フレーム (30)

テンキーで効果を選択する（ダイレクト選択）

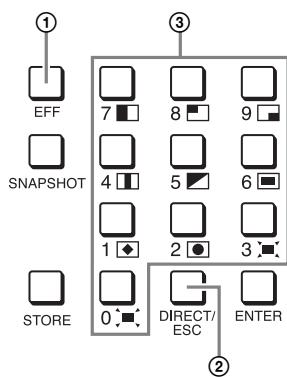
テンキー操作部の数値ボタン（0～9）には、あらかじめ以下のエフェクトパターンが割り付けられています。数値ボタンを使うと、簡単な操作で効果を付けることができます。

数値ボタン	エフェクトパターン	数値ボタン	エフェクトパターン	
0		1251 (PinP)	5 	0009 (ワイプ)
1		0023 (ワイプ: ひし形)	6 	0021 (ワイプ: 矩形)
2		0024 (ワイプ: 丸)	7 	0001 (ワイプ: 水平)
3		1201 (フレームインアウト)	8 	0005 (ワイプ)
4		0017 (ワイプ)	9 	0007 (ワイプ)

◆ このほかのエフェクトパターンの指定方法については、「パターン番号で効果を指定するには」(I-31ページ)をご覧ください。

- 1 プログラム出力する映像のPGMクロスポイントボタンを押す。
- 2 次に出力する映像のPST/KEYクロスポイントボタンを押す。

3 テンキー操作部で、効果を選ぶ。



① EFF ボタンを押して点灯させる。

② DIRECT/ESC ボタンが消灯しているときは、押して点灯させる。

③ 目的のエフェクトパターンが割り付けられている数値ボタンを押す。

4 トランジションを実行する。

パターン番号で効果を指定するには

エフェクトパターン番号を入力して効果を指定するときは、以下のように行います。

◆ パターン番号については、「エフェクトパターン一覧」(I-40 ページ)をご覧ください。

1 テンキー操作部で、EFF ボタンを押して点灯させる。

2 DIRECT/ESC ボタンが点灯しているときは、押して消灯させる。

3 数値ボタン (0 ~ 9) を使って、パターン番号を入力する。

メニュー画面左上に入力したパターン番号が表示されます。

4 ENTER を押す。

入力した番号のパターンアイコンが表示され、エフェクトパターン番号がオレンジ色に変わります。

メモ

パターン番号を入力し、ENTER ボタンを押す前に DIRECT/ESC ボタンを押すと、入力がキャンセルされ、元のパターン番号に戻ります。

キーで映像を合成する

キーとは、バックグラウンド画像をくり抜き、その部分に画像や文字を挿入する機能です。

本機では、以下のキーを使って映像を合成できます。

ルミナスキー (I-32 ページ)

キーソース¹⁾の明るさ(ルミナス)によって、キーフィル¹⁾映像 B を切り抜いて映像 A(背景)に重ねて合成します。

合成例では、キーソースとキーフィルに同じ映像が選択されています。

1) バックグラウンドをくり抜くための信号をキーソース、くり抜いた部分を埋めるための信号をキーフィルといいます。



リニアキー

ルミナスキーの一種ですが、ルミナスキーに比べてゲインの可変幅が狭く、調整精度が高いことが特徴です。

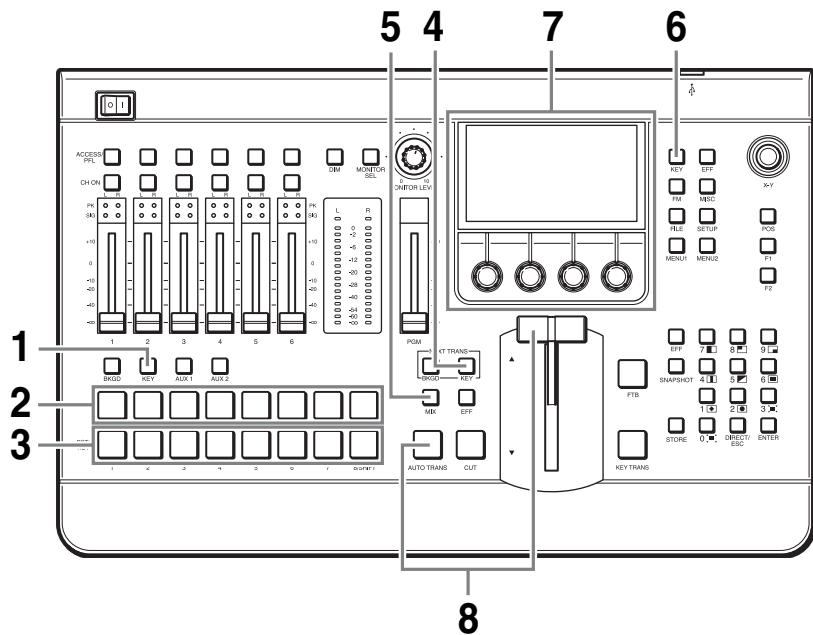
◆ 操作方法は、「リニアキーを詳細に設定する」(→ 詳細設定編)をご覧ください。

クロマキー (I-33 ページ)

特定の色(クロマ)の成分が含まれている映像 B から、その色を基準に一部を切り抜いた映像を映像 A(背景)に重ねて合成します。一般には、ブルーバックと呼ばれる青い背景の前で被写体を撮影し、青の成分が含まれている背景を切り抜いて、被写体のみを合成します。



ルミナスキーで映像を合成する



- 1 バスデリゲーションボタンのKEYボタンを押す。
- 2 プログラム出力する映像のPGMクロスポイントボタンを押す。
- 3 キーに使用する素材（プログラム出力映像の上にのせる画）のPST/KEYクロスポイントボタンを押す。
- 4 ネクストトランジション選択ボタンのKEYボタンを押して、点灯させる。
- 5 MIXボタンまたはEFFボタンを押す。
- 6 メニュー操作部のKEYボタンを押し、[Key]メニューを表示する。
- 7 V1つまみで[Key Type Select]を選択し、V4つまみで[Lum]を選択する。

0001	Rate 30	SS	Mon PGM
Key	2/27		
↳ Back			
Key Transition			
Key Type Select			
Resizer			
Select			Type Lum

つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V4	Type	キータイプの選択	Lum (ルミナスキー)、Lin (リニアキー)、Chr (クロマキー)

必要に応じて、クリップ値（輝度）やゲイン値、キーの透明度などを設定することもできます。

◆ 設定方法は、「ルミナスキーを詳細に設定する」（→ 詳細設定編）をご覧ください。

- 8 トランジションを実行する。

プログラム出力の映像にPST/KEYクロスポイントボタンの映像が合成されます。

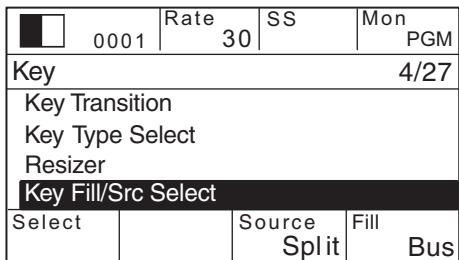
◆ 映像が合成されるまでの時間（トランジションレート）を設定できます。設定方法は、「トランジションレートを設定する」（I-30 ページ）をご覧ください。

◆ ルミナスキーの設定を「スナップショット」として保存しておき、必要なときに呼び出して使うこともできます。詳しくは、「スナップショット」（I-37 ページ）をご覧ください。

キーフィルとキーソースを個別に選択する場合

上記の手順 7 と 8 の間で、次のように操作します。

- ① V1 つまみで [Key Fill/Src Select] を選択し、V3 つまみで [Split] を選択する。



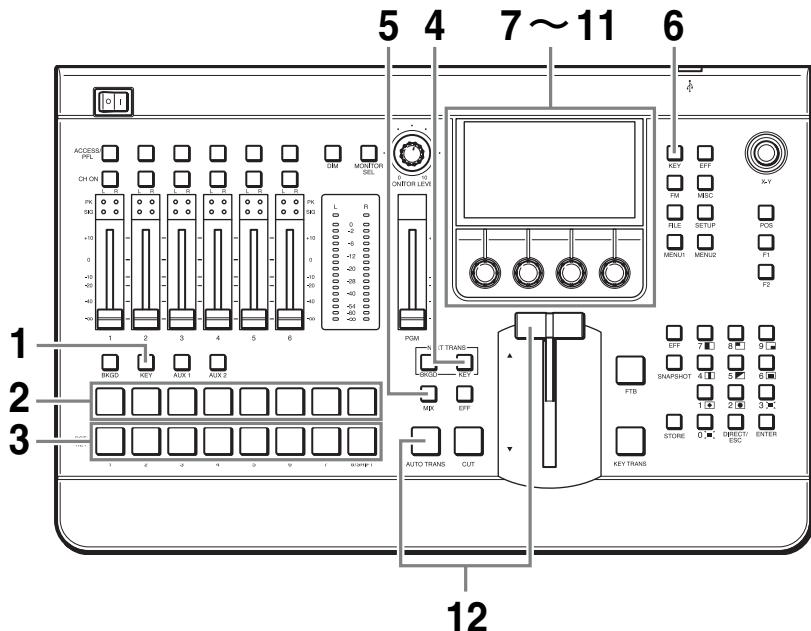
つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V3	Source	キーソースの選択モード	Self、Auto、Split

- ② バスデリゲーションボタンの KEY ボタンを押しながら、キーソースに使用する PST/KEY クロスポイントボタンを押す。

クロマキーで映像を合成する

ここでは、フォアグラウンド画像の一部分（たとえば背景の青色）を指定し、それを基準にしてクロマキー画像が得られるように自動調整する「オートクロマキー」の操作を説明します。

- ◆ 手動でクロマキーを調整することもできます（マニュアルクロマキー）。詳しくは、「クロマキーを詳細に設定する」（→ 詳細設定編）をご覧ください。



- 1 バスデリゲーションボタンの KEY ボタンを押す。
- 2 プログラム出力する映像の PGM クロスポイントボタンを押す。
- 3 キーに使用する素材（プログラム出力映像の上にのせる画）の PST/KEY クロスポイントボタンを押す。

- 4 ネクストトランジション選択ボタンの KEY ボタンを押して、点灯させる。
PVW には、選択した映像がキーオンされた映像が出力されます。
- 5 MIX ボタンまたは EFF ボタンを押す。

- 6 メニュー操作部の KEY ボタンを押し、[Key] メニューを表示する。
- 7 V1 つまみで [Key Type Select] を選択し、V4 つまみで [Chr] を選択する。

0001	Rate 30	SS	Mon PGM		
Key		2/27			
↳ Back					
Key Transition					
Key Type Select					
Resizer					
Select		Type	Chr		

つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V4	Type	キータイプの選択	Lum (ルミナンスキー)、Lin (リニアキー)、Chr (クロマキー)

- 8 V1 つまみで [Key Fill/Src Select] を選択し、V3 つまみで [Self] を選択する。

0001	Rate 30	SS	Mon PGM		
Key		4/27			
Key Transition					
Key Type Select					
Resizer					
Key Fill/Src Select					
Select		Source Self	Fill Bus		

つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V3	Source	キースースの選択モード	Self、Auto、Split

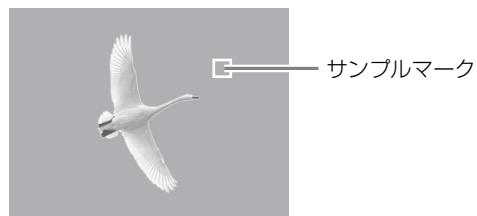
- 9 V1 つまみで [Chromakey Auto Adj] を選択して、つまみを押す。

以降のメニューがクロマキーの自動調整用（[Auto Chromakey] メニュー）に変わります。

- 10 V1 つまみで [Sample Mark] を選択し、V4 つまみを押す。

0001	Rate 30	SS	Mon PGM		
Auto Chromakey		1/3			
↳ Back					
Sample Mark					
Sample Mark Adjust					
Auto Adjust Execute					
Select			Mark		
			↓ Enter		

オートクロマキーモードになり、PVW 映像に白枠のサンプルマークが表示されます。



メモ

オートクロマキーモードを解除するときは、再度 V4 つまみを押します。

- 11 V1 つまみで [Sample Mark Adjust] を選択し、各つまみでサンプルマークを動かして、切り抜き色（クロマキーの基準となる色）を指定する。

各つまみの操作で、色を指定するサンプルマークの大きさや位置を調整できます。

0001	Rate 30	SS	Mon PGM		
Auto Chromakey		2/3			
↳ Back					
Sample Mark					
Sample Mark Adjust					
Auto Adjust Execute					
Select	Pos H	Pos V	Size		
	0.00	0.00	25.00		

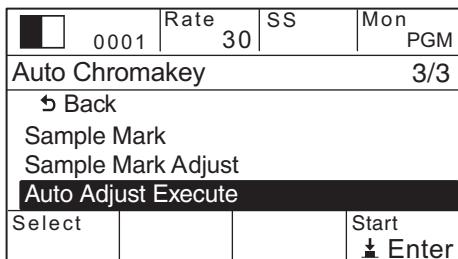
つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V2	Pos H	水平方向の位置	- 100.00 ~ + 100.00 ¹⁾ (0.00)
V3	Pos V	垂直方向の位置	- 100.00 ~ + 100.00 ¹⁾ (0.00)
V4	Size	大きさ	1.00 ~ 100.00 (25.00)

1) サイズの設定により、設定値の範囲が変わります。

メモ

このとき、X-Y ポインターでもサンプルマークを動かせます。

12 V1 つまみで [Auto Adjust Execute] を選択し、V4 つまみを押す。



サンプルマークで指定した色を基準にしてオートクロマキーが実行され、PVW エリア上に合成画像が出力されます。

メモ

F2 ボタンでもオートクロマキーを実行できます。

13 トランジションを実行する。

プログラム出力の映像に PST/KEY クロスポイントボタンの映像が合成されます。

- ◆ 映像が合成されるまでの時間（トランジションレート）を設定できます。設定方法は、「トランジションレートを設定する」（I-30 ページ）をご覧ください。
- ◆ クロマキーの設定を「スナップショット」として保存しておき、必要なときに呼び出して使うこともできます。詳しくは、「スナップショット」（I-37 ページ）をご覧ください。

ピクチャーインピクチャー (PinP) を使って映像を合成する

映像の中に別の映像をはめ込むピクチャーインピクチャー効果で、映像を合成できます。



- 1 バスデリゲーションボタンの BKGD ボタンを押す。
- 2 プログラム出力する映像の PGM クロスポイントボタンを押す。
- 3 はめ込みたい映像の PST/KEY クロスポイントボタンを押す。
- 4 ネクストトランジション選択ボタンの BKGD ボタンを押して、点灯させる。
- 5 テンキー操作部で、EFF ボタンを押して点灯させる。
- 6 DIRECT/ESC ボタンを押して点灯させ、「0」ボタンを押す。

メモ

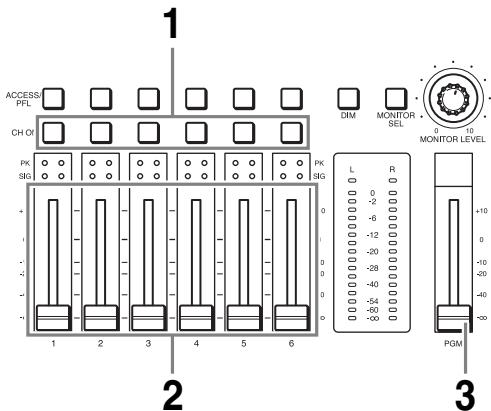
エフェクトパターン番号（PinP : 1251）を入力して PinP 効果を指定することもできます。

- 7 必要に応じて、はめ込む映像のサイズや位置を、[DME Wipe Modify] メニューで調整する。
 - ◆ 詳しくは、「フレームインアウトや PinP 時の子画面のサイズを調整する」（→ 詳細設定編）をご覧ください。
- 8 トランジションを実行する。

音声をミキシングする

本機に入力している音声をミキシングし、最終的な音声としてオーディオ出力部の PGM OUT 端子から出力（プログラム出力）します。

- ◆ あらかじめ、オーディオ操作部のチャンネルフェーダー（1～6）に入力信号を割り当てておく必要があります。設定方法は、「音声入力信号をチャンネルフェーダーに割り当てる」（I-23 ページ）をご覧ください。



- 1** オーディオ操作部で、ミキシングしたい音声が割り当てられているチャンネルの CH ON ボタンを押して点灯させる。

押すたびに、緑点灯／消灯が切り換わります。

CH ON ボタンの見かた

ボタンの状態	説明
緑点灯	オン 音声出力中
消灯	オフ（デフォルト） 消音

- 2** 各チャンネルフェーダーで音声レベルを調整し、ミキシングする。

- 3** プログラムフェーダーでプログラム出力されている音声のレベルを調整する。

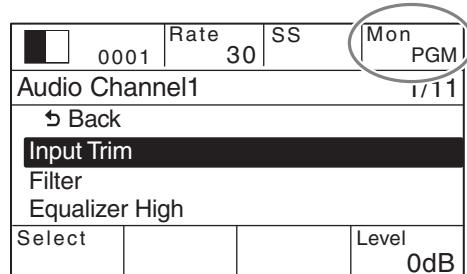
- ◆ ピーク表示が赤く点灯しているときやインプットシグナル表示が点灯しないときは、「音声入力のマイク／ラインレベルを設定する」（I-25 ページ）を参照し、マイク／ラインレベルを調整してください。

モニターする音声を切り換えるには

MONITOR SEL ボタンを押して、[PGM] を選択します。押すたびに、一瞬ボタンがオレンジ色に点灯し、モニターする音声が以下のように切り換わります。

PGM → AUX1 → AUX2 → MIX

現在の選択は、メニュー画面の右上に表示されます。

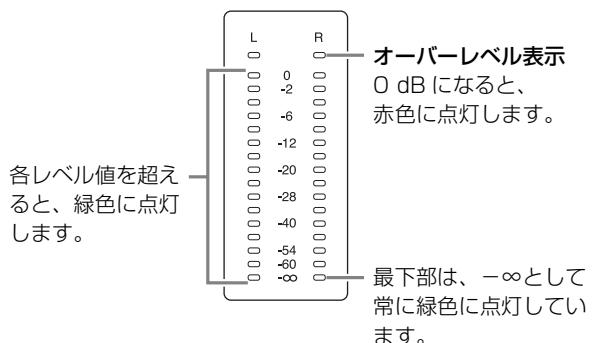


モニターする音声

- PGM** : PGM OUT L、R 端子から出力される音声
- AUX1** : AUX OUT 1 端子から出力される音声
- AUX2** : AUX OUT 2 端子から出力される音声
- MIX** : MIX OUT L、R 端子から出力される音声

オーディオレベルメーターの見かた

オーディオレベルメーターには、MONITOR SEL ボタンで選択されている音声のレベルが 0 dB から -60 dB の範囲（16 段階）で表示されます。

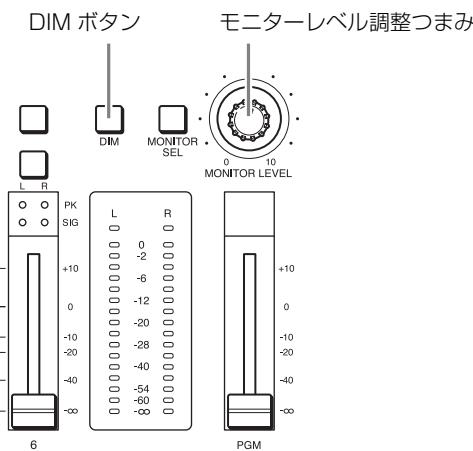


メモ

- ピークホールドを行います。
- PFL（プリフェーダーリッスン）のときは、PFL の音声レベルが表示されます。

モニターする音声のレベルを調整する

MON OUT L、R 端子や HEADPHONE 端子に接続されている機器に出力される音声のレベルは、モニターレベル調整つまみや DIM ボタンで調整します。



モニターレベル調整つまみ

つまみを回して、モニターする音声のレベルを調整します。

DIM ボタン

ボタンを押して点灯（オレンジ色）させると、ディマー機能が働き、モニターレベルが 20 dB 下がります。もう一度押して消灯させると、ディマー機能が解除され、モニターレベルが元に戻ります。

特定チャンネルの音声のみモニターする

各チャンネルの音声を、フェーダーによる調整が効いていない状態で、MON OUT L、R 端子や HEADPHONES 端子などで聞くことができます (PFL)。入力している音声を確かめる場合などに使います。

モニターするチャンネルの ACCESS/PFL ボタンを 0.5 秒以上押すと、ボタンを押している間、そのチャンネル音声のみをモニターします。

ACCESS/PFL ボタンを離すと、そのモニターは解除されます。

メモ

- PFL 中に別の ACCESS/PFL ボタンを 0.5 秒以上押すと、PFL 中だった音に後から指定したチャンネルの音が追加されます。
- プログラム出力、AUX 出力、MIX 出力への影響はありません。

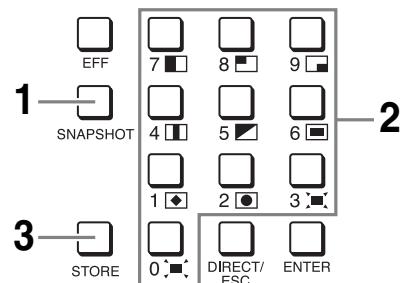
スナップショット

スナップショットは、エフェクトやキーの設定内容を、シーンごとに保存しておく機能です。よく使う設定をスナップショットを保存しておくと、必要なときに呼び出して使えるので便利です。スナップショットは 20 個まで保存できます。

スナップショットには、以下の内容が保存されます。

- クロスポイントボタン番号
- バックグラウンド／キー
- エフェクトパターン
- キーの設定状態
- トランジションの状態
- フレームメモリーの設定

スナップショットを保存する



- 1 テンキー操作部で、SNAPSHOT ボタンを押して点灯させる。
- 2 テンキーを使って、スナップショットを保存する番号 (1 ~ 20) を入力する。

入力された番号は、メニューディスプレイのスナップショット番号に表示されます。

メモ

入力された番号にスナップショットが保存されていない場合は、入力された番号の左側に「E」(Empty) が表示されます。

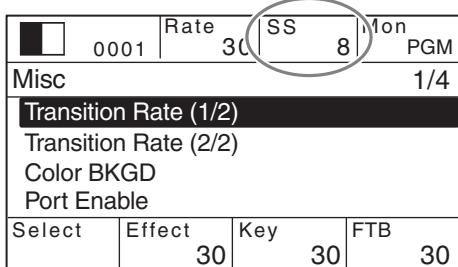
3 STORE ボタンを押す。

スナップショットが登録されます。

メモ

すでに登録されている番号を入力すると、上書き保存されます。

例) 8番に登録した場合



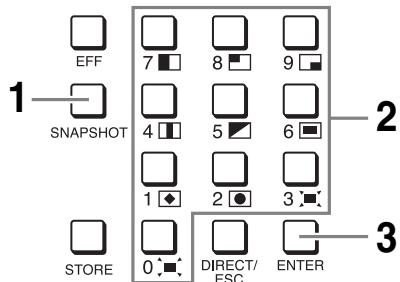
メモ

クロスポイントを変えずにスナップショットを呼び出すときは、PGM クロスポイントボタンや PST/KEY クロスポイントボタンを押しながら、ENTER ボタンを押します。

バスデリゲーション	クロスポイント列	保持されるクロスポイント
BKGD	PGM	PGM バス
	PST/KEY	PST バス
KEY	PGM	PGM バス
	PST/KEY	KEY バス (Fill バスおよび Source バス)

◆ スナップショットを USB メモリーにエクスポート／インポートできます。操作方法は、「スナップショットをインポートする」(→ 詳細設定編) をご覧ください。

スナップショットを呼び出す



1 テンキー操作部で、SNAPSHOT ボタンを押して点灯させる。

2 テンキーを使って、呼び出したいスナップショットの番号を入力する。

入力された番号は、メニューディスプレイのスナップショット番号に表示されます。

メモ

入力された番号にスナップショットが保存されていない場合は、入力された番号の左側に「E」(Empty) が表示されます。

3 ENTER ボタンを押す。

スナップショットが呼び出されます。

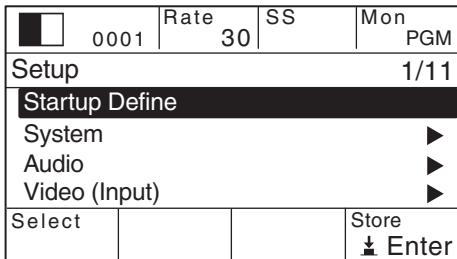
設定の保存と選択

エフェクトやキー、セットアップの現在の設定内容を保存することができます。

また、本機の起動時の状態を保存した設定内容にするか、工場出荷時の状態にするか選択することができます。

設定内容を保存する

- 1 SETUP ボタンを押し、[Setup] メニューを表示する。
- 2 V1 つまみで [Startup Define] を選択し、V4 つまみを押す。



エフェクトやキー、セットアップの設定内容が保存されます。

メモ

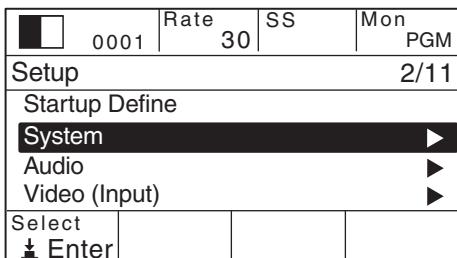
設定内容を保存すると、起動時のモード (Startup Mode) は、自動的に [User] に変更されます。

ご注意

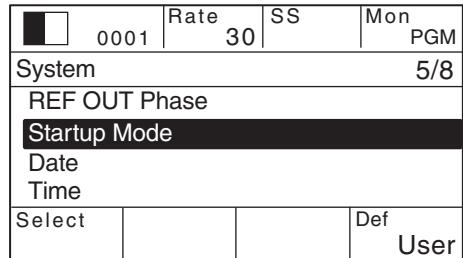
保存しないで電源を切ると、現在の設定内容は失われます。

起動時に呼び出す設定を選択する

- 1 SETUP ボタンを押し、[Setup] メニューを表示する。
- 2 V1 つまみで [System] を選択し、つまみを押す。



- 3 V1 つまみで [Startup Mode] を選択し、V4 つまみでモードを選択し、つまみを押す。



つまみ	パラメーター	意味	設定範囲
V4	Def	呼び出す設定	Fact、User

設定値について

Fact : 工場出荷時の設定内容

User : 保存した設定内容

付録

エフェクトパターン一覧

ワイプ (Wipe)

1		2		3	
4		5		6	
7		8		9	
10		11		12	
13		14		15	
16		17		18	
19		20		21	
22		23		24	

ミックス (Mix)

900	
-----	--

ノンアディティブミックス (NAM)

901	
-----	--

スライド (Slide)

1001		1002		1003	
1004		1005		1006	
1007		1008			

スクイーズ (Squeeze)

1021		1022		1023	
1024		1025		1026	
1027		1028		1029	
1030		1031			

ドア (Door)

1041		1042		1043	
1044					

フレームインアウト (Frame In/Out)

1201		1202		1203	
1204		1205		1206	
1207		1208		1221	
1222		1223		1224	

フリップタンブル (Flip Tumble) ¹⁾

1101		1102	
------	--	------	--

ピクチャーピンピクチャー (PinP) ¹⁾

1251	
------	--

モザイク (Mosaic) ¹⁾

1701	
------	--

デフォーカス (Defocus) ¹⁾

1702	
------	--

1) BKGD のトランジションのみ使用可能。

困ったときには

お問い合わせの前に、もう一度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口へご相談ください。

症状	想定される原因	対処方法
ビデオ出力が黒のままで映像が出ない。	FTB ボタンが点灯している。	FTB ボタンを消灯する。
ネクストトランジションの BKGD ボタンと KEY ボタンを同時に選択できない。	エフェクトトランジションで DME ワイプが選択されている。	エフェクトトランジションのトランジションタイプを DME 以外に設定する。
エフェクトトランジションで DME ワイプを選択できない。	キートランジションのトランジションタイプに DME が選択されているか、[Resizer] (リサイザー) が [On] になっている。	キートランジションのトランジションタイプを DME 以外に、また、[Resizer] (リサイザー) を [Off] に設定する。
キートランジションで DME ワイプを選択できない。	エフェクトトランジションのトランジションタイプに DME が選択されているか、[Resizer] (リサイザー) が [On] になっている。	エフェクトトランジションのトランジションタイプを DME 以外に、また、[Resizer] (リサイザー) を [Off] に設定する。
[Resizer] (リサイザー) が [On] にならない。	エフェクトトランジションかキートランジションのトランジションタイプに DME ワイプが選択されている。	エフェクトトランジションのトランジションタイプを DME 以外に設定する。
CG ファイルが一覧に表示されない。	インポート用のフォルダーに保存されていない。	ファイルを「¥Sony¥MCS¥FM」のフォルダーに保存する。
	ファイルの名称が拡張子を含めて 26 文字以上になっている。	拡張子を含めたファイル名を 25 文字以内に変更する。
アルファチャンネルの映像が取り込めない。	アルファチャンネル付きの CG ファイルが正しく作成されていない。	アルファチャンネル付きの CG ファイルを TGA または TIFF 形式で作成しなおす。
トランジション操作部の FTB ボタンが動作しない。	クロスポイント操作部のデリゲーションが AUX 1 または AUX 2 になっている (バスデリゲーションボタンの AUX 1 ボタンまたは AUX 2 ボタンが選択されている)。	バスデリゲーションボタンの選択を BKGD ボタンまたは KEY ボタンに変更する。
	[Setup] メニュー > [Video (Misc)] メニュー > [Fade To Back] メニューが [Disbl] になっている。	[Enbl] にする。
トランジション操作部の KEY TRANS ボタンが動作しない。	クロスポイント操作部のデリゲーションが AUX 1 または AUX 2 になっている (バスデリゲーションボタンの AUX 1 ボタンまたは AUX 2 ボタンが選択されている)。	バスデリゲーションボタンの選択を BKGD ボタンまたは KEY ボタンに変更する。
トランジション操作部の EFF ボタンをオンにできない。		
ネクストトランジションで KEY をオンにできない。		
日付や時刻を設定した後、電源を入れなおすと、その値が変わっている。	日付や時刻が正しくない場合は、内蔵の電池が切れている可能性がある。	ソニーサービス窓口にご相談ください。

メンテナンス

1か月に1回、汚れたときはその都度、通風孔のほこりを取り除いてください。

仕様

一般

対応フォーマット

1080i/ 50 Hz, 59.94 Hz

720p/ 50 Hz, 59.94 Hz

480i/ 59.94 Hz

576i/ 50 Hz

電源 AC 100 ~ 240 V ± 10%, 50/60 Hz

消費電力 100 V : 0.7 A, 240 V : 0.3 A

動作保証温度 5 °C ~ 40 °C

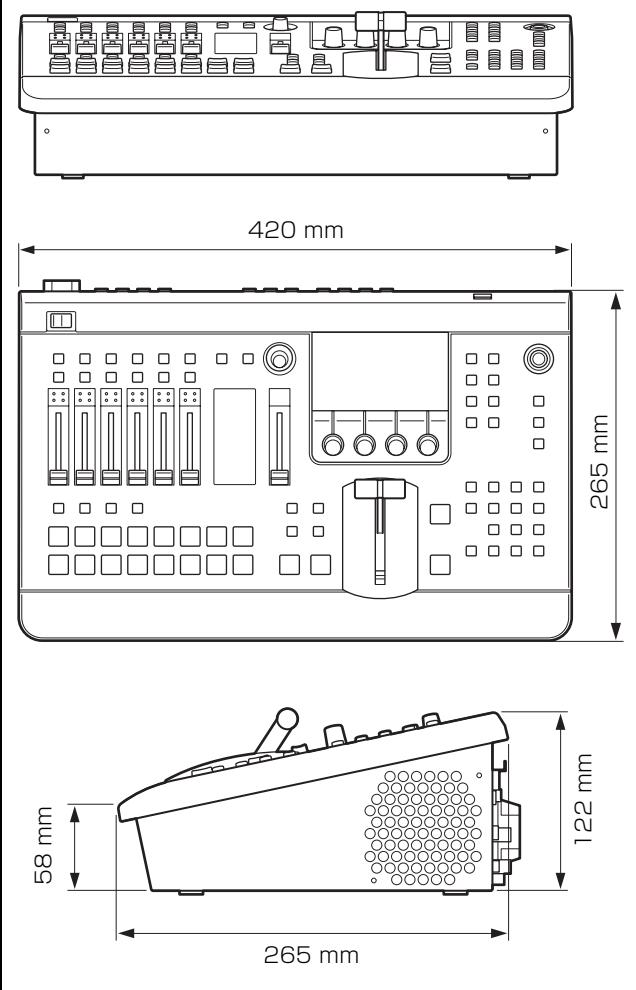
性能保証温度 10 °C ~ 35 °C

保存温度 -20 °C ~ 60 °C

外形寸法 420 × 122 × 265 mm

(幅／高さ／奥行き、突起部含まず)

質量 約 5.0 kg



映像信号

ビデオ入力

SDI BNC (4)、75 Ω、0.8 Vp-p ± 10%、
1.5 Gbps、270 Mbps

SMPTE-292M、SMPTE-299M、
SMPTE-259M-C、SMPTE-272M-A

HDMI HDMI (Type A) (3)

HDCP 非対応、CEC 非対応

DVI-I DVI (1) (DVI-IN)

HDCP 非対応、
デジタル／アナログ RGB 対応

コンポジット BNC (3)、1 Vp-p ± 2 dB、
同期負 (75 Ω)

リファレンス BNC (2)、ループスルー 75 Ω
アナログブラックバーストまたは
3 値シンク信号
基準値 + 6 dB ~ - 3 dB

入力対応フォーマット

• HD/SD システム

システム フォーマット	入力	SDI IN 1 ~ 4	HDMI IN 1 ~ 3	DVI-I IN		VIDEO IN 1 ~ 3	REF IN
				デジタル	アナログ ¹⁾		
SD	576i/50	576i/50	非対応	非対応	XGA (1024 × 768) /60 SXGA (1280 × 1024) /60 WXGA (1280 × 768) /60	PAL	PAL BB
	480i/59.94	480i/59.94	非対応	非対応	XGA (1024 × 768) /60 SXGA (1280 × 1024) /60 WXGA (1280 × 768) /60	NTSC	NTSC BB
HD	1080i/50	1080i/50	1080i/50	1080p/50	XGA (1024 × 768) /60 SXGA (1280 × 1024) /60 WXGA (1280 × 768) /60	非対応 1080i/50 (3 値)	PAL BB 1080i/50 (3 値)
	1080i/59.94	1080i/59.94	1080i/59.94	1080p/60	XGA (1024 × 768) /60 SXGA (1280 × 1024) /60 WXGA (1280 × 768) /60	非対応 NTSC BB 1080i/59.94 (3 値)	NTSC BB 1080i/59.94 (3 値)
	720p/50	720p/50	720p/50	非対応	XGA (1024 × 768) /60 SXGA (1280 × 1024) /60 WXGA (1280 × 768) /60	非対応 PAL BB 720p/50 (3 値)	PAL BB 720p/50 (3 値)
	720p/59.94	720p/59.94	720p/59.94	非対応	XGA (1024 × 768) /60 SXGA (1280 × 1024) /60 WXGA (1280 × 768) /60	非対応 NTSC BB 720p/59.94 (3 値)	NTSC BB 720p/59.94 (3 値)

1) WXGA (1280 × 768) は、以下のフォーマットのみ対応しています。

解像度	周波数 (Hz)	fs (MHz)	fH (kHz)	fV (Hz)	H (pix)	V (line)
1280 × 768	60	68.250	47.396	59.995	1440	790

• 3D システム (Single、Dual Stream)

システム フォーマット	入力	SDI IN 1 (L) 2 (R)	SDI IN 3 (L) 4 (R)	HDMI IN 1 ~ 3	DVI-I IN		VIDEO IN 1 ~ 3	REF IN
					デジタル	アナログ		
HD	1080i/50	1080i/50	1080i/50	非対応	非対応	非対応	非対応 PAL BB 1080i/50 (3 値)	PAL BB 1080i/50 (3 値)
	1080i/59.94	1080i/59.94	1080i/59.94	非対応	非対応	非対応	非対応 NTSC BB 1080i/59.94 (3 値)	NTSC BB 1080i/59.94 (3 値)
	720p/50	720p/50	720p/50	非対応	非対応	非対応	非対応 PAL BB 720p/50 (3 値)	PAL BB 720p/50 (3 値)
	720p/59.94	720p/59.94	720p/59.94	非対応	非対応	非対応	非対応 NTSC BB 720p/59.94 (3 値)	NTSC BB 720p/59.94 (3 値)

ビデオ出力

SDI	BNC (4)、75 Ω、0.8 Vp-p ± 10%、 1.5 Gbps、270 Mbps SMPTE-292M、SMPTE-299M、 SMPTE-259M-C、SMPTE-272M-A
DVI-D	DVI (2) (AUX、MULTI VIEWER) HDCP 非対応

コンポジット BNC (1)、1 Vp-p ± 2 dB、

同期負 (75 Ω)

DVI-D (AUX) 出力と同一素材を出力

BNC (1)、75 Ω

ブラックバースト信号、

NTSC : 0.286 Vp-p ± 2 dB、

同期負 (75 Ω)

PAL : 0.3 Vp-p ± 2 dB、同期負 (75 Ω)

出力対応フォーマット

• HD/SD システム

出力 システム フォーマット	SDI OUT	DVI-D OUT		VIDEO OUT AUX	REF OUT
		PGM、AUX1、 AUX2、MV	AUX		
SD	576i/50	576i/50	非対応	576i/50	PAL
	480i/59.94	480i/59.94	非対応	480i/59.94	NTSC
HD	1080i/50	1080i/50	1080i/50	1080i/50	非対応
	1080i/59.94	1080i/59.94	1080i/59.94	1080i/59.94	非対応
	720p/50	720p/50	720p/50	720p/50	非対応
	720p/59.94	720p/59.94	720p/59.94	720p/59.94	非対応

• 3D システム (Single、Dual Stream)

出力 システム フォーマット	SDI OUT	DVI-D OUT		VIDEO OUT AUX	REF OUT
		PGM、AUX1、 AUX2、MV ¹⁾	AUX		
HD	1080i/50	1080i/50	1080i/50	1080i/50	非対応
	1080i/59.94	1080i/59.94	1080i/59.94	1080i/59.94	非対応
	720p/50	720p/50	720p/50	720p/50	非対応
	720p/59.94	720p/59.94	720p/59.94	720p/59.94	非対応

1) MV : MULTI VIEWER

音声信号

オーディオ入力

アナログ入力 1、2

XLR + TRS 複合 (2)

(MIC/LINE 1、2)、凸

基準入力レベル : - 44 dBu、- 20 dBu、

+ 4 dBu、入力インピーダンス :

3.3 kΩ 以上

アナログ入力 3 ~ 6

TRS フォン (4) (MIC/LINE 3 ~ 6)

基準入力レベル : - 44 dBu、- 20 dBu、

+ 4 dBu、入力インピーダンス :

3.3 kΩ 以上

アナログ入力 7、8

ピンジャック (2) (LINE 7、8)

基準入力レベル : - 10 dBu、

入力インピーダンス : 10 kΩ 以上

オーディオ出力

アナログ出力 1, 2

XLR (2) (PGM OUT L, R)、凹
基準レベル : + 4 dBu (負荷 : 10 kΩ)、
最大出力レベル : + 24 dBu、
出力インピーダンス : 150 Ω

アナログ出力 TRS フォン (4)

(AUX 1/AUX 2/MON L/MON R)
基準レベル : + 4 dBu (負荷 : 10 kΩ)、
最大出力レベル : + 24 dBu、
出力インピーダンス : 150 Ω

アナログ出力 ピンジャック (2) (MIX L/MIX R)

基準レベル : + 10 dBu (負荷 : 10 kΩ)、
最大出力レベル : + 10 dBu、
出力インピーダンス : 470 Ω

ヘッドホン出力 標準ステレオフォン (1)

最大出力 : 25 mW × 2 (16 Ω 負荷時)

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかるらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

その他インターフェース

USB Type A (1)

REMOTE D-sub 9 ピン (1)、凸、RS-232C、
38.4 k Baud

TALLY/GPI D-sub 15 ピン (1)、凸

入力 : 4 ch、出力 : 8ch Open Corrector
(最大電流 5 mA 以下、最大電圧 5 V 以下)

付属品

75 Ω 終端抵抗器 (1)

取扱説明書 (Volume I 基本操作編) (和／英、各 1) (本書)

CD-ROM (取扱説明書 (Volume I 基本操作編／

Volume II 詳細設定編)) (1)

保証書 (1)

別売品

① AC 電源コード (125 V、7 A、2.4 m)

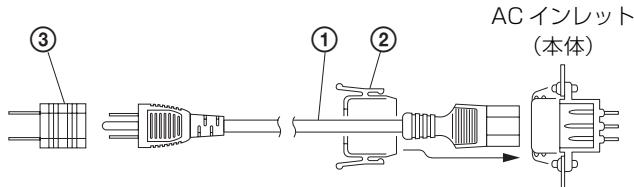
部品番号 : 1-791-041-32

② プラグホルダー (茶)

部品番号 : 3-613-640-01

③ AC プラグ変換アダプター (3 極 → 2 極)

部品番号 : 1-793-461-12



仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

端子のピン配列

TALLY/GPI 端子

D-sub 15 ピン、凸

ピン No.	信号名	内容
1	GPO1	GPI アウトプット 1 / タリー 1
2	GPO2	GPI アウトプット 2 / タリー 2
3	GPO3	GPI アウトプット 3 / タリー 3
4	GPO4	GPI アウトプット 4 / タリー 4
5	GPO5	GPI アウトプット 5 / タリー 5
6	GPO6	GPI アウトプット 6 / タリー 6
7	GPO7	GPI アウトプット 7 / タリー 7
8	GPO8	GPI アウトプット 8 / タリー 8
9	GND	GND
10	GND	GND
11	GPI1	GPI インプット 1
12	GPI2	GPI インプット 2
13	GPI3	GPI インプット 3
14	GPI4	GPI インプット 4
15	GND	GND

REMOTE 端子

RS-232C、D-sub 9 ピン、凸

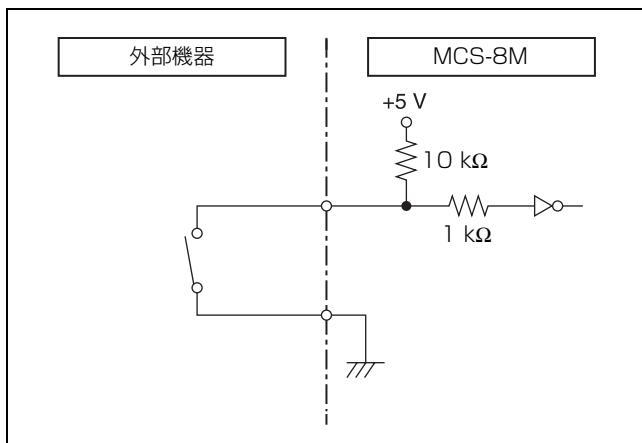
ピン No.	信号名	内容
1	-	No Connection
2	RX	Received Data
3	TX	Transmitted Data
4	DTR	Data Terminal Ready
5	GND	Ground
6	DSR	Data Set Ready
7	RTS	Request to Send
8	CTS	Clear to Send
9	-	No Connection

メモ

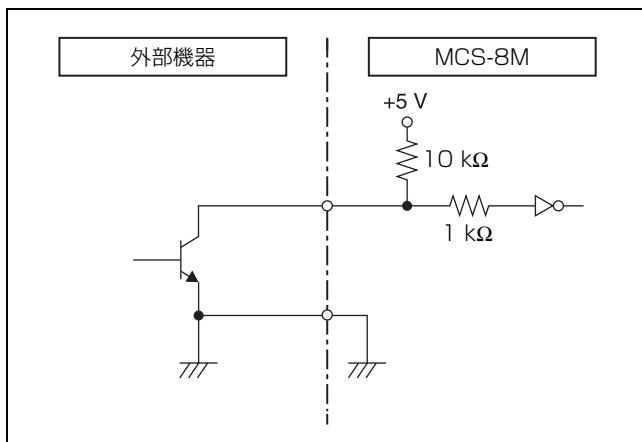
REMOTE 端子に外部機器を接続すると、本機の動作を制御できます。通信プロトコルなど詳細は、ソニーのサービス窓口または営業担当者にお問い合わせください。

GPI 入力の接続例

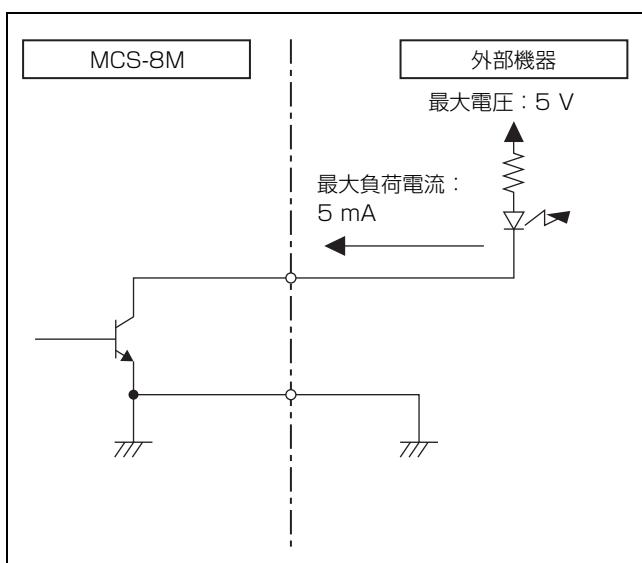
スイッチまたはリレー接続



オープンコレクター接続



タリー／GPI 出力の接続例



保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお確かめください。
それでも具合の悪いときはお買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にお問い合わせください。

索引

数字

- 3D Mode II-46
3D システム II-39
3D モード II-40
8/SHIFT I-13

あ

- アスペクト比 I-19

い

- イコライザー II-31
インプットシグナル表示 I-11, I-25
インポート II-34, II-37, II-38
 画像 II-34
 構成データ II-37
 スナップショット II-38

え

- 映像の切り替え I-28
エクスポート II-35, II-36, II-37
 構成データ II-36
 スナップショット II-37
 フレームメモリー II-35
エフェクト I-29
エフェクトパターン一覧 I-40
エンベデッドオーディオ II-47

お

- オーディオ出力部 I-15
オーディオ操作部 I-11
オーディオ入力信号 I-23
オーディオ入力部 I-15
オーディオミキシング I-36, II-30
オーディオモニターエリア I-12
オーディオレベルメーター I-11, I-36
音声 I-36
音声入力 I-25

か

- 外部機器 II-41

き

- キー I-31, II-19
 基本操作 II-19
 詳細設定 II-20
キーエッジ II-22
キーソース II-21
キータイプ II-21
キートランジション II-20
キーフィル II-21

- 基準同期信号入出力部 I-16

く

- クロスポイント操作部 I-13
クロスポイントボタン I-21, I-28
 切り換える I-28
 信号の割り当て I-21
クロップ II-13
クロマキー I-31, I-33, II-21

こ

- 効果 I-29
構成データ II-36
困ったときには I-41
コンプレッサー II-31

し

- システム構成例 I-10, II-5
 3D システムの場合 II-6
 HD システムの場合 I-10
 SD システムの場合 II-5
仕様 I-42
信号フォーマット I-19

す

- 数値ボタン (0 ~ 9) I-14, I-30
スクイーズ I-40
スナップショット I-37, II-37
 保存する I-37
 呼び出す I-38
スライド I-40

せ

- 設定の保存 I-39
セットアップ II-45

た

- ダイレクト選択 I-30
タリー出力 II-41
端子のピン配列 I-45

ち

- チャンネルフェーダー I-11, I-23, I-36, II-30
調整つまみ 1 ~ 4 I-12

- 微調整 I-13

て

- ディマー I-37
デジタルマルチエフェクト II-8, II-20
デフォーカス I-40
テンキー I-31
テンキー操作部 I-14
電源を入れる／切る I-18

と

- ドア I-40
トップメニュー選択ボタン I-12
EFF ボタン I-12, II-15
FILE ボタン I-12, II-36
FM ボタン I-12, II-32
KEY ボタン I-12, II-23
MENU1, 2 ボタン I-12
MISC ボタン I-12, II-8
SETUP ボタン I-12, I-19, I-20, I-21, I-22, II-45

- トランジションインジケーター I-14, I-30

- トランジション操作部 I-13

- トランジションタイプ II-8

- トランジションタイプ
 選択ボタン I-14

- EFF ボタン I-32, I-33, II-10, II-19

- MIX ボタン I-30, I-32, I-33, II-19

- トランジションレート I-30

- トランジションレートエリア I-12

に

- 入力リファレンス信号 II-45

ね

- ネクストトランジション
 選択ボタン I-14

- BKGD ボタン I-14

- KEY ボタン I-14

の

- ノンアディティブミックス I-40, II-8

は

- バスデリゲーション II-9
バスデリゲーションボタン I-13, I-32, I-38, II-19, II-20
 AUX 1 ボタン I-13
 AUX 2 ボタン I-13
 BKGD ボタン I-13, I-38
 KEY ボタン I-13, I-32, I-38, II-19, II-20

ひ

- ピーク表示 I-11, I-25
ピクチャーインピクチャー I-40
日付と時刻 I-20
ビデオ出力部 I-16
ビデオスイッ칭 I-28, II-7
ビデオ入力部 I-16

ふ

- フェーダーレバー I-29
フリーズ II-32
フリップタンブル I-40

プリフェーダーリッスン	I-36
フレームインアウト	I-29, I-40
フレームメモリー	II-32
プレビュー映像	I-26
プログラム映像	I-26
プログラムフェーダー	I-11, I-36
フロントパネル	I-11

ま

マイク／ラインレベル	I-25
マスク	II-22
マルチビューアー	I-26

み

ミックス	I-29, I-30, I-40
------	------------------

め

メッセージ一覧	II-53
メニュー	

画面の見かた	I-12
--------	------

操作のしかた	I-13
--------	------

メニュー操作部	I-12
---------	------

も

モザイク	I-40
モニターレベル調整つまみ	I-11, I-37

り

リニアキー	I-31, II-21
リミッター	II-31

る

ルミナنسキー	I-31, I-32, II-21
---------	-------------------

わ

ワイプ	I-29, I-40, II-10
ワイプエッジ	II-12
ワイプパターン	II-11

A

ACCESS/PFL ボタン	I-11, I-37, II-30
Aspect	II-17, II-26, II-28
Audio	I-23
Audio Channel メニュー	II-30
AUX OUT Assign	II-31
Equalizer High	II-31
Equalizer Low	II-31
Equalizer Mid	II-31
Filter	II-30
Input Trim	II-30
Limiter/Compressor	II-31
MIX OUT Assign	II-31
Pan	II-31
PGM Assign	II-31
Audio Input Assign	I-23, II-47
Audio Output Delay	II-48

Audio メニュー	II-47
Audio Input Assign	II-47
Audio Output Delay	II-48
MIC/LINE Level	II-47
Oscillator	II-48
Output Level	II-48
SDI OUT AUX Assign	II-48
SDI OUT MULTI VIEWER Assign	II-48
SDI OUT PGM Assign	II-47

Auto Adjust Execute	I-35, II-27
---------------------	-------------

Auto Chromakey メニュー	II-27
---------------------	-------

Auto Adjust Execute	II-27
---------------------	-------

Sample Mark	II-27
-------------	-------

Sample Mark Adjust	II-27
--------------------	-------

AUTO TRANS ボタン	I-14, I-29, II-8
----------------	------------------

AUX 1 ボタン	I-13
-----------	------

AUX 2 ボタン	I-13
-----------	------

AUX OUT Assign	II-31
----------------	-------

AV Link	I-24
---------	------

B

BKGD ボタン	I-13, I-14, I-38
----------	------------------

Border Adjust	II-25
---------------	-------

Border Matte Adjust	II-25
---------------------	-------

C

CH ON ボタン	I-11, I-36
-----------	------------

Chr	I-34
-----	------

Chr Key Adjust	II-27
----------------	-------

Chr Key Window	II-27
----------------	-------

Chr Key Window Adj	II-27
--------------------	-------

Chromakey Auto Adj	I-34, II-24
--------------------	-------------

Chromakey Manual Adj	II-24
----------------------	-------

Color BKGD	II-8
------------	------

Color Cancel	II-27
--------------	-------

Color Cancel Adjust	II-27
---------------------	-------

Crop H	II-18
--------	-------

Crop V	II-18
--------	-------

CUT ボタン	I-14, I-28
---------	------------

D

Date	I-20, II-46
------	-------------

Defocus	I-40
---------	------

DIM ボタン	I-11, I-37
---------	------------

DIRECT/ESC ボタン	I-14, I-31
----------------	------------

DME	II-8, II-20
-----	-------------

DME Wipe Adjust	II-15
-----------------	-------

DME Wipe Bkgd Color	II-16
---------------------	-------

DME Wipe Edge	II-16
---------------	-------

DME Wipe Edge Color	II-16
---------------------	-------

DME Wipe Modify メニュー	II-17
----------------------	-------

Crop H	II-18
--------	-------

Crop V	II-18
--------	-------

Positioner	II-17
------------	-------

Positioner Adjust	II-17
-------------------	-------

Size	II-18
------	-------

DME ワイプ	II-12
---------	-------

基本操作	II-12
------	-------

詳細設定	II-13
------	-------

Door	I-40
------	------

DVI	I-22, II-49
-----	-------------

DVI OUT AUX Assign	II-51
--------------------	-------

DVI OUT MULTI VIEWER Assign	II-51
-----------------------------	-------

Assign	II-51
--------	-------

DVI 入力映像	I-22
----------	------

DVI 入力信号	II-49
----------	-------

E

EFF ボタン	I-12, I-14, I-31, I-32, I-33, II-10, II-15, II-19
---------	---

Effect Transition	II-15
-------------------	-------

Effect メニュー	II-15
-------------	-------

DME Wipe Adjust	II-15
-----------------	-------

DME Wipe Bkgd Color	II-16
---------------------	-------

DME Wipe Edge	II-16
---------------	-------

DME Wipe Edge Color	II-16
---------------------	-------

Effect Transition	II-15
-------------------	-------

Wipe Adjust	II-15
-------------	-------

Wipe Edge	II-15
-----------	-------

Wipe Edge Color	II-15
-----------------	-------

ENTER ボタン	I-14, I-31, I-38
-----------	------------------

Equalizer High	II-31
----------------	-------

Equalizer Low	II-31
---------------	-------

Equalizer Mid	II-31
---------------	-------

Export	II-35
--------	-------

Export Config	II-36
---------------	-------

Export Snapshot	II-37
-----------------	-------

F

F1 ボタン	I-12
--------	------

F2 ボタン	I-12
--------	------

Fade To Black	II-52
---------------	-------

FILE ボタン	I-12, II-36
----------	-------------

File メニュー	II-36, II-37, II-38
-----------	---------------------

Export Config	II-36
---------------	-------

Export Snapshot	II-37
-----------------	-------

Import Config	II-37
---------------	-------

Import Snapshot	II-38
-----------------	-------

USB Memory Format	II-38
-------------------	-------

Filter	II-30
--------	-------

Fine Key Adjust H	II-25
-------------------	-------

Fine Key Adjust V	II-25
-------------------	-------

Flip Tumble	I-40
-------------	------

FM ボタン	I-12, II-32
--------	-------------

Frame In/Out	I-40
--------------	------

Frame Memory Freeze	II-33
---------------------	-------

Frame Memory メニュー	II-32, II-33, II-34, II-35
-------------------	----------------------------

Export	II-35
--------	-------

Frame Memory Freeze	II-33
---------------------	-------

Import	II-34
--------	-------

Input Freeze	II-32	Key メニュー	II-23		
Select	II-33	Border Adjust	II-25		
FTB ボタン	I-14, II-8, II-52	Border Matte Adjust	II-25		
G					
GPI Input	II-42	Chromakey Auto Adj	II-24		
GPI Output/Tally	II-43	Chromakey Manual Adj	II-24		
GPI/Tally メニュー	II-42	Fine Key	II-25		
GPI Input	II-42	Fine Key Adjust H	II-25		
GPI Output/Tally	II-43	Fine Key Adjust V	II-25		
On Air Source	II-44	Key DME Wipe	II-24		
GPI 出力	II-41	Key Edge Type	II-25		
GPI 入力	II-41	Key Fill Mat Adjust	II-23		
H					
HDMI	II-49	Key Fill/Src Select	II-23		
I					
Import	II-34	Key Invert	II-24		
Import Config	II-37	Key Mask	II-24		
Import Snapshot	II-38	Key Mask Box H	II-24		
Information	II-52	Key Mask Box V	II-25		
Input Freeze	II-32	Key Soft Edge	II-25		
Install	II-52	Key Transition	II-23		
K					
Key DME Wipe	II-24	Key Type Select	II-23		
Key DME Wipe Modify		Key Wipe	II-24		
メニュー	II-29	Key Wipe Edge	II-24		
Positioner	II-29	Lin Key Adjust	II-23		
Positioner Adjust	II-29	Lin Key Mode	II-24		
Size	II-29	Location	II-26		
Key Edge Type	II-25	Lum	I-32		
Key Fill Mat Adjust	II-23	Lum Key Adjust	II-23		
Key Fill/Src Select	II-23	Lum Key Mode	II-23		
Key Invert	II-24	Resizer	II-23		
Key Mask	II-24				
Key Mask Box H	II-24	L			
Key Mask Box V	II-25	LCD Backlight	II-46		
Key Soft Edge	II-25	Limiter/Compressor	II-31		
KEY TRANS ボタン		Lin Key Adjust	II-23		
.....I-14, II-8, II-20, II-23		Lin Key Mode	II-24		
Key Transition	II-23	Location	II-26		
Key Type Select	I-32, I-34, II-23	Lum	I-32		
Key Wipe	II-24	Lum Key Adjust	II-23		
Key Wipe Edge	II-24	Lum Key Mode	II-23		
Key Wipe Modify メニュー	II-28				
Aspect	II-28	M			
Multi	II-28	Manual Chromakey メニュー	II-27		
Multi Adjust	II-28	Chr Key Adjust	II-27		
Positioner	II-28	Chr Key Window	II-27		
Positioner Adjust	II-28	Chr Key Window Adj	II-27		
Rotation	II-28	Color Cancel	II-27		
Rotation Adjust	II-28	Color Cancel Adjust	II-27		
Rotation	II-28	MENU1、2 ボタン	I-12		
Rotation Adjust	II-28	MIC/LINE Level	I-25, II-47		
Rotation	II-28	Misc	II-8		
Rotation Adjust	II-28	MISC ボタン	I-12, II-8		
Rotation	II-28	Misc メニュー			
Color BKGD	II-8	Color			
Port Enable	II-8	Port			
Transition Rate	II-8	Transition Rate	II-8		
Mix	I-40, II-20	Mix	I-40, II-20		
MIX OUT Assign	II-31	MIX OUT Assign	II-31		
MIX ボタン	I-14, I-30, I-32, I-33, II-19	MIX ボタン	I-14, I-30, I-32, I-33, II-19		
MONITOR	I-11	MONITOR SEL ボタン	I-11, I-36		
MONITOR SEL ボタン	I-11, I-36	Mosaic	I-40		
Mosaic	I-40	Multi	II-17, II-28		
Install メニュー	II-52				

Multi Viewer メニュー	I-26
Startup Define.....	I-39
System メニュー	II-45
Video (Input) メニュー	II-49
Video (Misc) メニュー	II-52
Video (Output) メニュー	II-51
Video (XPT) メニュー	II-50
SHIFT	II-50
Signal Assign.....	I-27
Size.....	II-18, II-29
Slide	I-40
SNAPSHOT ボタン	I-14, I-37
Squeeze	I-40
Startup Define.....	I-39
Startup Mode	II-46
STORE ボタン	I-14, I-38
Switch Timing	II-52
System Format	II-46
System Reference.....	II-46
System メニュー	II-46
3D Mode.....	II-46
Date	II-46
LCD Backlight	II-46
REF OUT Phase	II-46
Startup Mode	II-46
System Format	II-46
System Reference	II-46
Time	II-46
System Format	I-19

T

Time	I-20, II-46
Transition Rate.....	II-8

U

USB Memory Format.....	II-38
USB メモリーのフォーマット	II-38

V

V1.....	I-13
V2.....	I-13
V3.....	I-13
V4.....	I-13
VIDEO.....	II-49, II-51
Video (Input)	I-22
Video (Input) メニュー	II-49
DVI	II-49
HDMI.....	II-49
SDI.....	II-49
VIDEO.....	II-49
Video (Misc) メニュー	II-52
Fade To Black	II-52
Switch Timing	II-52
Video (Output) メニュー	II-51
DVI OUT AUX Assign.....	II-51
DVI OUT MULTI VIEWER	
Assign.....	II-51

SDI OUT AUX Assign	II-51
SDI OUT MULTI VIEWER	
Assign.....	II-51
SDI OUT PGM Assign.....	II-51
VIDEO	II-51
Video (XPT)	I-21
Video (XPT) メニュー	II-50
XPT Assign	II-50
XPT Shift Mode	II-50
Viewer Mode	I-27

W

Wipe	I-40, II-8, II-20
Wipe Adjust	II-15
Wipe Edge	II-15
Wipe Edge Color	II-15
Wipe Modify メニュー	II-16
Aspect	II-17
Multi	II-17
Multi Adjust	II-17
Positioner	II-16
Positioner Adjust	II-16
Rotation	II-16
Rotation Adjust	II-17

X

XPT Assign.....	I-21, II-50
XPT Shift Mode	II-50
X-Y ポインター	I-12, II-11, II-13

このマニュアルに記載されている事柄の著作権は当社にあり、説明内容は機器購入者の使用を目的としています。従って、当社の許可なしに無断で複写したり、説明内容（操作、保守等）と異なる目的で本マニュアルを使用することを禁止します。

商標について

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名、会社名は一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文中では、®、™ マークは明記していません。

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>